

# 埼経協ニュース



6・7  
'13 月号

## 第二期西村体制スタート

**新任副会長に山本彰氏（日本ピストンリング(株)代表取締役社長）、齊藤実氏（AGS(株)顧問）、川本武彦氏（株）サイサン代表取締役社長）の三氏を選任、二五年度事業計画等全議案を承認**

### 平成二五年度定時総会

特別講演（株）スコーラ・コンサルト柴田昌治氏が「なぜ会社は変わらないのか〜危機突破の企業風土改革」と題して講演

平成二五年度定時総会は、五月九日（月）一三時三〇分からパレスホテル大宮にて開催された。

当日は各界のご来賓の方々並びに会員を合わせて三四〇名の方々にご参加いただいた。

第一部は、西村会長の開会挨拶ではじまり、続いて、ご来賓を代表し

て、宮川正経済産業省関東経済産業局長、坂本正喜財務省関東財務局長、安藤よし子厚生労働省埼玉労働局長、前島富雄埼玉県教育委員会教育長、小林直哉連合埼玉会長の五氏から祝辞を頂戴した。

次にご来賓紹介、定足数確認後、西村会長が議長となり、審議が進め

られ、平成二五年度事業計画・収支予算、役員を選任な

ど、以下の議案すべてが原案通り承認された。

#### 【議案】

- 一、平成二四年度事業報告
- 二、平成二四年度決算報告
- 三、平成二五年度事業計画
- 四、平成二五年度収支予算
- 五、理事・監事の選任
- 六、役員を選任

続いて、西村会長から以下の五名の組織拡大協力会員に対し、感謝状と記念品の贈呈が行われた。

・藤原健氏（日本信号(株)取締役常務執行役員）

・三原宏治氏（日本自動車管理(株)代表取締役社長）

・織田秀明氏（ボッシュ(株)取締役会長）

・椎名幹芳氏（三國コカ・コーラボトリング(株)相談役）

・上條正仁氏（株）埼玉りそな銀行代表取締役社長）



平成25年度定時総会



講演する柴田昌治氏



議事を進行する西村会長



議案説明を聞く参加者

・三原宏治氏（日本自動車管理(株)代表取締役社長）  
・織田秀明氏（ボッシュ(株)取締役会長）  
・椎名幹芳氏（三國コカ・コーラボトリング(株)相談役）  
・上條正仁氏（株）埼玉りそな銀行代表取締役社長）



川本武彦氏



齊藤 実氏



山本 彰氏

#### ■新任副会長のご紹介

その後事務局報告が行われ第一部を終了した。  
第二部の講演会では、組織風土改革の日本の第一人者である(株)スコーラ・コンサルト柴田昌治氏から「なぜ会社は変わらないのか〜危機突破の企業風土改革」と題して、三〇年間、五〇〇社の企業風土改革の支援実績を踏まえ、企業風土改革の取り組みのポイントについて語っていた。  
その後、休憩を挟んで第三部の懇親会に移った。  
懇親会は椎名幹芳副会長の開会挨拶に始まり、続いて上田清司埼玉県知事よりご挨拶を頂戴し、その後上井喜彦埼玉大学学長の乾杯の音頭で懇親の宴がスタートした。そして、会員同士の懇親が大いに図られ、吉野寛治副会長の閉会の挨拶で懇親会は終了した。

# 西村会長開会挨拶（要旨）

会長の西村でございます。本日は会員の皆様におかれましては、ゴールデンウィーク明けの業務ご多忙の中、このように大勢の方々にご出席を賜り、誠にありがとうございました。

また、お手元のご来賓者名簿にございますように、公私とも大変ご多忙の中、関東経済産業局長の宮川正様、関東財務局長の坂本正喜様、埼玉労働局長の安藤よし子様、埼玉県教育委員会教育長の前島富雄様、連合埼玉会長の小林直

哉様をはじめ、多くのご来賓の皆様にご臨席を賜りました。皆様方のご厚誼に対しまして、深く感謝申し上げます。

さて、私は、昨年五月の定時総会において、本会八代目の会長に選出され、この一年間会長として職責を全うすべく諸活動を推進してまいりました。後程詳しい説明等がございますが、各事業は概ね計画通りに実行することができました。これも偏に会員の皆様のご支援の賜物と感謝申し上げます次第であります。今後も、諸課題

解決に向け、全力を投入する覚悟であります。引き続き、ご支援、ご協力を切にお願い申し上げます。

さて、ここで、足元の経済情勢に目を転じますと、アベノミクス、そして日銀黒田新総裁による異次元緩和政策等により、円安・株高が進行しており、先行きも、米国経済の好転など輸出環境の改善、

復興事業の執行に伴う公的需要の増加、さらには政府の経済政策、株高等を背景に個人消費が緩やかに拡大しており、景気は徐々に明るさを増していくものと考えられ、また、企業収益面でも、円高修正、堅調な内需を支えに、本年度の企業収益は、二ケタ増益の見通しとなるなど改善傾向をたどるものと予想されます。

こうした情勢の中、今後の企業経営について、私の所感の一端を申し述べさせていただきます。

まず第一点は、今こそ、経営の方向性を「リスクオフ」から「リスクオン」へチェンジしていただきたいということであり、

少子高齢化の急速な進行、グローバル競争の激化など、企業を取り巻く経営環境は急速に変化してきておりますが、これまでの日本企業の経営を振り返りますと、この変化に対し恐れをなし、ややもすると確実なことだけを求め、「トネルの向こうの光」が見えてくるの待ち続けたような気がしてなりません。

ようやく景気が上向きだった今、

従来の思考から脱却し、変化の時代は、取り組み如何では、新しい価値を創造できる時代であるという前向きかつ積極的な意識で経営にあたる必要があるのではないかと思います。

日本を代表する企業家、本田宗一郎の言葉に「チャレンジして、失敗を恐れるより、何もしないことを恐れる」という言葉がありましたが、長きにわたる低迷期を過ごしてきた日本企業は、「問題を起こしていない社員は仕事をしていないと思え」、これくらい極端に意識を変えないと、誰もチャレンジしない組織風土に染まっているのではないのでしょうか。

経営者は今こそ、本田宗一郎に習い、成長戦略を明確に描き、そして「リスクオフ」から「リスクオン」へ経営の舵取り変えるべき時期に来ているのではないかと思います。

二点目は、企業における「組織の重さ」の打破ということについてです。

本来強みであったはずの日本的な経営スタイルでは、ミドル人材

が組織の内外、上下左右に積極的に働きかけて精妙な「すり合わせ」を行い、新製品・新事業を打ち出し、それを通じて会社の戦略的方向性を形成していくということに特徴を有していたと言われております。

しかし、二〇年に及ぶ低迷期を過ごしてきた日本企業をみると、残念ながら日本的経営スタイルは、結果として過剰な内部調整に忙殺される組織を構築してしまい、その結果、環境変化への対応が遅れがちになったという側面も否定できません。

変化のスピードが益々速まるこれからの時代において、戦略の策定、実行にあたっては、この「コセンサス偏重の重たい組織」を見直し、アジリティ、すなわち軽快で敏捷な経営スタイルに変更していく必要があると考えます。

三点目は、人材の育成についてであります。

以前聞いた話ですが、「働く」ということには、三つのタイプがあるとのこと。一つ目は、肉体労働等の「レイバー」、二つ

開会挨拶をする西村会長



目は、工場や事務所での一般的な仕事を指す「ワーク」、そして三番目が、芸術家など、価値労働を意味する「プレイ」だそうです。

それぞれのタイプの貴賤を問う話をしているわけではありませんが、今後企業にとって特に必要となる人材は「プレイ」という役割を果たしていく人材であると思います。

こうした付加価値の高い人材を育成するためには、まず、「高志」、次に「仕事の場の大きさ」、それも若い頃に経験する仕事の場の大きさ、そして「思索の場の深さと広さ」、この三つの条件が必要だと思えます。

是非ともこの三つが備わるような教育研修を心がけていただき、先程お話しした「プレイ」という役割果たす人材を育成していただきたいと思います。

以上、私の企業経営に関する所感の一端を述べさせていただきますが、

続いて、本会の事業運営について、二点お願いを申し上げます。

まず、一点目は、会員の増強についてでございます。

皆様方のご協力により、二四年度は、四六先の会員にご入会いただきました。しかしながら、長引く景気低迷、企業業績等の影響により、同数の会員が退会されてお

り、会員総数は昨年三月末と同数の六五九と横這いに留まっております。さらに本年度に入り、現在まで八会員が退会しております。

この後の事務局報告の中でもお願いをさせていただきますが、会員の皆様には、是非とも、未加入事業所のご紹介をお願い申し上げます。ご多忙のところ、誠に恐縮に存じますが、何卒よろしくお願

い申し上げます。

二点目は、事業活動への参加のお願いであります。二四年度は従来にも増して、セミナー等の事業を積極的に推進してまいりましたが、残念ながら、業務の関係で

出席をいただけない会員の方も多

いという現状にあります。

今後は、代表者の方が、ご都合によりご欠席の場合は、是非とも社員の方々をご派遣いただきます

とともに、併せて今後のセミナーテーマ等につきましてのご要望を

積極的に事務局宛お申し出くださいますようお願いいたします。

以上二点、お願いをさせていただきますが、本日は、組織風土改革の日本の第一人者である、柴田昌治様より、『な

ぜ会社は変わらないのか』危機突破の企業風土改革』と題する講演並びにその後懇親会も予定されております。

会員の皆様におかれましては、お時間の許す限りのご参加いただきますようお願い申し上げます。

結びに、会員の皆様の事業のご繁栄と本日にご臨席の皆様方の益々のご健勝をご祈念申し上げ、開

会のご挨拶とさせていただきます。



総会議場



役員一同

## 目次

○平成二五年度定時総会	1
○第二回トップセミナー	7
○第一回特別セミナー・埼玉県産業労働部主要施策説明会	8
○第一回・第二回ウーマノミクス推進委員会	8
○第一回企業戦略研究会、第一回グローバル委員会	9
○第一回CSR委員会、第一回少子高齢化対策研究会	10
○第一回人事労務委員会、第一回地域社会問題委員会	11
○青年経営者部会定時総会	12
○連載「この人・企業紹介」大宮アルデュージャ 鈴木茂社長・広告	13
○地区会員企業のホットな話題 中部(日本自動車管理)、西部(クノールプレムゼ商用車システムジャパン)、南部(星光産業)、北部(栗原弁天堂)	14
○埼玉大学研究者との出会いの広場	15
○連載「ものづくり大学」へようこそ	18
○暑中お見舞い申し上げます	19
○インターネットシッピングガイダンス・情報交換会	20
○企業経営動向調査(四月度・特別調査)	21
○会員親睦ゴルフ	22
○ワンポイント労働法・こんな時にこんなことを	23
○埼玉県からのお知らせ	29
○採用に関する教育長からの要請、日本経団連 提言・提案	30
○法人企業統計調査の実施に関する協力要請	31
○事業日より、広告	32
○告知板、会員の動き	33
	34
	35
	36

# 新 役 員 体 制

## [名誉会長]

協会の役職名	氏 名	事 業 所 名	事業所役職名
名 誉 会 長	原 宏	武州瓦斯(株)	代表取締役会長
名 誉 会 長	利根 忠博	公立大学法人埼玉県立大学	理事長 (株)埼玉りそな銀行元会長

## [顧問]

顧 問	栗原 隆	太平洋セメント(株)	名誉顧問
顧 問	森谷 文昭	日本ピストンリング(株)	元会長

## [理事]

協会の役職名	氏 名	事 業 所 名	事業所役職名
会 長	西村 和義	日本信号(株)久喜事業所	取締役会長
副 会 長	加藤喜久雄	(株)武蔵野銀行	取締役頭取
副 会 長	藤池 誠治	(株)デサン	代表取締役会長
副 会 長	吉野 寛治	吉野電化工業(株)	代表取締役社長
副 会 長	椎名 幹芳	三国コカ・コーラボトリング(株)	相談役
副 会 長	発田 聡	UD トラックス(株)	バイスプレジデント
副 会 長	上條 正仁	(株)埼玉りそな銀行	代表取締役社長
副 会 長	山本 彰	日本ピストンリング(株)	代表取締役社長
副 会 長	橋元 健	キャノン電子(株)	取締役副社長
副 会 長	斉之平伸一	三州製菓(株)	代表取締役社長
副 会 長	牧 毅	東京ガス(株)埼玉支社	埼玉支社長
副 会 長	光山 由一	東日本電信電話(株)埼玉支店	埼玉支店長
副 会 長	原 敏成	武州瓦斯(株)	代表取締役社長
副 会 長	織田 秀明	ボッシュ(株)東松山工場	取締役会長
副 会 長	宮澤 政信	マルキュー(株)	代表取締役社長
副 会 長	斉藤 実	AGS(株)	顧問
副 会 長	神田 正	(株)ハイデイ日高	代表取締役会長
副 会 長	栗田 敏寿	(株)東日本旅客鉄道大宮支社	執行役員大宮支社長
副 会 長	牛窪 啓詞	(株)愛工舎製作所	代表取締役社長
副 会 長	横塚 正秋	アサヒロジスティクス(株)	代表取締役会長
副 会 長	増田 文治	(株)マスダック	代表取締役社長
副 会 長	川本 武彦	(株)サイサン	代表取締役社長
業務執行理事・ 専務理事	根岸 茂文	(一社)埼玉県経営者協会	専務理事

## [監事]

協会の役職名	氏 名	事 業 所 名	事業所役職名
監 事	中込 秀明	富士電子(株)	代表取締役社長
監 事	松本伸一郎	(株)松本商会	代表取締役社長

# ご来賓

## （敬称略・順不同）

▽埼玉県知事 上田清司

### 《講師》

▽(株)スコラ・コンサルト プロセスデザイナー代表 柴田昌治

▽(株)スコラ・コンサルト 代表取締役 高橋秀紀

▽(株)スコラ・コンサルト 秘書 高野昌子

### 《国関係》

▽経済産業省関東経済産業局長 宮川 正

▽財務省関東財務局長 坂本正喜

▽ 関東財務局 財務広報相談室長 森尾みゆき

▽厚生労働省埼玉労働局長 安藤よし子

▽ 埼玉労働局 総務部長 木幡繁嗣

▽ 労働基準部長 庭山佳宏

▽ 職業安定部長 齋藤明男

▽ 雇用均等室長 絹谷よし子

▽ 総務部総務課長 柏俣富廣

▽ 企画室長 狩野 操

▽ 安定課長 鈴木良尚

▽ 対策課長 青鹿 均

▽独立行政法人国立女性教育会館 理事長 内海房子

▽産業労働部 産業労働部長 山中 融

▽ 産業労働政策課長 加藤和男

▽ 産業支援課長 正能修一

▽ 勤労者福祉課長 斎藤和也

▽ 就業支援課長 新井勝己

▽ ウーマノミクス課長 江森光芳

▽ 県民生活部 国際課 副課長 増田文之

▽ 県民生活部 副課長 増田文之

▽ 共助社会づくり課長 下田正幸

▽ 埼玉県産業技術総合センター センター長 牟田口照恭

▽ 副センター長 鈴木康之

▽ 埼玉県教育委員会 教育長 前島富雄

▽ 埼玉県教育局立学校部高校教育指導課 主任指導主事 飯田 敦

▽ 埼玉県教育局立学校部高校教育指導課 主幹兼主任指導主事 峰 稔浩

▽ 埼玉県教育局立学校部高校教育指導課 主幹 南雲世臣

▽ 埼玉県教育局立学校部高校教育指導課 指導主事 遠藤智久

▽ 埼玉県労働委員会 会長 石田 眞

▽ 埼玉県労働委員会 事務局長 鈴木 享

▽ 埼玉県労働委員会 使用者委員 安藤嘉明

▽ 埼玉県労働委員会 使用者委員 柳沢幸一

▽ 埼玉県労働委員会 前使用者委員 鹿島利友

▽ 埼玉県労働委員会 前使用者委員 北風良雄

▽ 埼玉県労働委員会 前使用者委員 坂田秋雄

▽(公財)埼玉県国際交流協会 グローバル人材育成センター埼玉 副センター長 田口芳弘

▽さいたま市 経済局 局長 野中邦彦

▽ 経済部長 岡安博文

▽(一社)埼玉県商工会議所連合会 会長 松永 功

▽ 埼玉県中小企業団体中央会 会長 星野 進

▽ 埼玉経済同友会 代表幹事 相川 博

▽ 埼玉経済同友会 代表幹事 荻野芳朗

▽(公財)埼玉県産業振興公社 理事長 秋山秀次郎

▽ 埼玉県信用保証協会 会長 後閑 博

▽(公財)さいたま市産業創造財団 理事長 山縣秀司

▽(公財)さいたま市産業創造財団 理事 江田元之

▽(公財)埼玉県産業文化センター 事務局長 根岸章王

▽(公財)産業雇用安定センター 埼玉事務局長 渡辺邦男

▽ 埼玉県職業能力開発協会 事務局長 杉戸雄司

▽ 埼玉県雇用対策協議会 専務理事 篠原保夫

▽(御高齢・障害・求職者雇用支援機構)埼玉職業訓練支援センター 所長 横田 昭

### 《経済界関係》

▽(株)埼玉りそな銀行 代表取締役副社長 池田一義

▽ 常務執行役員 中尾安志

▽ 常務執行役員 関川朋史

▽ 執行役員 藤田正幸

▽ 執行役員 中野真治

▽ 執行役員 小泉公彦

▽ 公共法人部長 猪俣 章

▽ 県庁支店長 田中 洋

▽(株)武蔵野銀行 副頭取 栗原正巳

▽ 常務執行役員本店 営業部長 飯島莊衛

▽ 地域サポート部長 一柳幸男

### 《大学及び研究機関》

▽ 埼玉大学 学長 上井喜彦

▽ 理事・副学長 山口宏樹

▽ 副学長 八木正一

▽ 副学長 睦好宏史

▽ 経済学部副学部長 禹 宗 杭

▽ オープンイノベーションセンター長 大澤清一

▽ オープンイノベーションセンター 准教授 濱田 豊

▽ 大学院理工学研究科教授/A 参事役 甘棠一男

▽ MI研究センター センター長 綿貫啓一

▽ ものづくり大学 専務理事 北尾美成

▽ 埼玉県立大学 名誉教授 上田惇生

▽ 学長 三浦宜彦

▽ 事務局長 伏野 誠

### 《報道関係》

▽(株)埼玉新聞社 代表取締役社長 小川秀樹

▽ 編集局報道部産業経済担当記者 池端泰山

▽(株)テレビ埼玉 代表取締役社長 平本一郎

▽ 取締役総務局長 小嶋一晃

▽ 報道制作局長 加島千里

▽ 日本経済新聞社 さいたま支局長 長田 正

▽ 日刊工業新聞社 さいたま支局長 長田 正

▽ 時事通信社 さいたま支局長 水越千文

▽(株)ぎょうせい さいたま支局長 石川章一郎

### 《関係団体》

▽GPTWジャパン(働きがいのある会社研究所) 代表 和田 彰

▽日本ホスピタリティ・マネジメント学会 理事 加地照子



ご来賓の方々

# 25年度定時総会 アルバム

定時総会全景



来賓祝辞 宮川正 関東経済産業局長



来賓祝辞 坂本正喜 関東財務局長



来賓祝辞 安藤よし子 埼玉労働局長



来賓祝辞 前島富雄 埼玉県教育委員会教育長



来賓祝辞 小林直哉 連合埼玉会長



組織拡大協力会員として  
感謝状を贈呈される藤原健氏(左)



組織拡大協力会員として  
感謝状を贈呈される三原宏治氏(左)



組織拡大協力会員として  
感謝状を贈呈される織田秀明氏(左)



組織拡大協力会員として  
感謝状を贈呈される椎名幹芳氏(左)



組織拡大協力会員として  
感謝状を贈呈される上條正仁氏(左)

講演謝辞 藤池誠治副会長



懇親会 開宴挨拶 椎名幹芳副会長



懇親会 来賓祝辞 上田清司埼玉県知事



懇親会 乾杯挨拶 上井喜彦埼玉大学学長



懇親会 閉宴挨拶 吉野寛治副会長



講演会風景



懇親会会場



懇談する参加者



「セミナー開催前後に

「障害者アート展」も開催、NHKが取材

「経営者のあるべき姿」と題して

プライスウオーターハウスクーパーズ・

パートナー田作朋雄氏が講演



講演する田作朋雄氏

二五年度第二回トップセミナーは、五月二七日(月)一四時より、ソニックシティビル四階市民ホールにおいて、プライスウオーターハウスクーパーズ・パートナー田作朋雄氏を講師としてお迎えし、「経営者のあるべき姿」と題して開催され、七三名の方が参加した。

講演の概要は以下の通り。

◆経営判断の過程

経営判断は①道の踏み分け(前人未踏の領域への乗り出し)、②分析(問題の設定、論点の整理、選択肢の列挙、決断)、③実行(分析したことを実行に移す)の三段階に分かれており、日本の学校教育では②の知識教育のみが重視され、①や③はあまり扱われていない。

◆経営者と楽団指揮者との類似性

経営者と指揮者は、①個別の楽器は弾けなくてもよい、②弾けなくてもよいが得意楽器にはかり目が向いて逆効果のこともある、③楽譜は読めなければならず、その楽譜に基づいて、楽団員に楽器を弾

いてもらう(弾かせる)等の点で類似性が高い。

◆経営戦略の定義

「戦略」とは「いかに競争に成功するか、ということに関して一企業が持つ理論」と定義できる。そして、敵に対してどう立ち回るかを考える軍事理論的な戦略論(相対的戦略)と日々営々と内部資源を蓄積し続けることが、自ずと敵に勝つ力となると考える戦略論(絶対的戦略)に大別できる。

◆ブルーオーシャン戦略

企業が生き残るために争いを繰り返す既存の市場はレッドオーシャン、競争者のいない新たな市場でまだ生まれていない未知の市場空間はブルーオーシャンと呼ばれている。そして、既存の製品やサービスにならなから要素を付け加えたり、取り除いたり、増やしたり、減らしたりの四つのアクションを勘案して、戦略・特長の要素並びのその強さをキャンパス(戦略キャンパスと呼ばれる)への書き込み作業によりブルーオーシャンを見つけて出す戦略をブルーオーシャン戦略という。具体例で示すとQ&Bハウスやコンビニ型フィットネスクラブ・カーブスの戦略がブルーオーシャン戦略に該当する。

◆事業再生の本旨

言葉の本来の意味での事業再生は、「事業を「再生」させることであり、法務・税務・会計などの作業に矮小化されるも



展示された障害者アート



NHKの取材



「障害者アート展示を見る参加者」



のではない。一九九〇年代に入ってから、景気変動において構造的要因も無視できなくなってきた。この時代に、春待ち型経営での再生は不可能であり、いくら待っても春は来ない。なお、主な構造的要因としては、IT化、少子高齢化の急速な進行(国内的要因)、新興国の製造業への参入(国際的要因)などがあげられる。

■障害者アート展開催

トップセミナーの開催前後の時間を利用して障害者が制作したイラスト・絵画・グッズ等の展示会を開催、多くのセミナー参加者にご覧いただきました。また、当日はNHKが取材に訪れ、同日夕刻のニュースで展示会の風景が報道されました。

第一回特別セミナー

『経営者・管理者のためのクレーム対応講座』開催

大手電機メーカーでビデオテープレコーダーの購入者への対応を誤り、マスコミに大きく取り上げられ、製品の不買運動へと発展した事例、また自動車メーカーでリコール事案をユーザー側の整備不

障害者が制作したイラスト・絵画・グッズのご利用・ご活用のお願いについて

日頃より弊会の運営に種々ご支援、ご協力を賜わり誠にありがとうございます。衷心より御礼を申し上げます。次第です。また、CSR活動推進等の観点からこれまで障害者支援に積極的にお取り組みをいただき、重ねて御礼を申し上げます。

さて、今般、弊会も委員として参画している埼玉県障害者アートフェスティバル実行委員会では、障害のあるアーティストやその作品の魅力を多くの方々にご認識いただくために、障害者が制作したイラスト・絵画・グッズを掲載した「うぶつ。埼玉がわいイラスト・グッズ集」を発行いたしました。

会員各位におかれましては、送付済の冊子をご覧いただき、社内報やIR情報・会報の表紙デザインやカット、カレンダー、商品パッケージ、株主総会のお土産品、会社創立記念の記念品等として、是非ともご活用いただけますようお願い申し上げます。

なお、活用をご希望される場合は、各ページの最下段に掲載した各取扱施設宛ご連絡をお願いいたします。各施設の連絡先につきましては、冊子14ページに掲載しております。

特別に障害者支援を検討・実施するのではなく、事業推進上、日頃から発注・調達している各種印刷物、物品等に障害者の作品をご活用いただくことで、障害者の生活支援につながるだけでなく、障害のあるアーティスト自身やその作品が世間に評価されることになるのです。

本冊子を手に取り、各ページをご覧いただき、是非ともご活用をご検討賜りますようお願い申し上げます。以上

撃を受ける可能性があります。

一方、顧客のクレームや意見に対し、誠意を持って解決に向けた適切な対応を素早く行うとともに、クレームの原因をしっかりと分析し、再発防止を図る企業は顧客からの信頼を獲得すると言われています。

このようにクレーム対応は企業経営においても極めて重要なテーマとなっており、こうしたクレーム対応の重要性を踏まえ、二五年度第一回の特別セミナーは、



五月三〇日(木)十三時三〇分よりソニックシティビル四階市民ホールにおいて、八〇〇を超える業種・業態の指導等を行うなど、クレーム対応に留まらず、CS、サービスマネジメント等の分野における第一人者である(株)武田マネジメントシステム代表取締役武田哲男氏を講師としてお迎えし、「経営者・管理者のためのクレーム対応講座」として開催し、八五名の方々が参加した。

セミナーは多くの指導経験、著作を有する武田氏の講演であり、大いに参考となるものであった。(講演資料はHPの会員専用ページに掲載しておりますので、ご確認ください。)



講演する武田哲男氏

## 『埼玉県産業労働部主要施策説明会』開催

埼玉県産業労働部主要施策に関する説明会が、平成二五年四月一六日(火)、一四時よりソニックシティビル四階市民ホールにおいて四四名の方々が参加し開催された。

説明会は、まず産業労働部副部長の立川吉朗氏より、「通商産業政策の地方分権化」「埼玉版ウーマノミクスプロジェクトの推進」「二五年度の産業支援施策」について説明が行われた。

説明の概要は以下の通り  
一、通商産業政策の地方分権化  
これまで産業や雇用は国の責任で行うものと考えられていたが、今後は県でも主体的に産業おこし、雇用づくりに取り組んでいく必要がある。具体的に埼玉県



講演する立川吉朗氏

には取り組んでいくというものであり、①女性が働く環境の整備、②女性の就業支援、③女性の活躍の場の創成、④ウーマノミクスに関する情報発信の四つの施策を本年度も推進する。

三、産業支援施策  
本年度推進する以下の七つの施策について詳細な説明が行われた。  
①経営基盤支援、イノベーション推進支援、新たな成長産業支援、グローバル展開支援など、中小企業の成長段階に対応した支援策  
②国内での受注機会の創出、中国・ASEANビジネス支援、海外展開のため  
③新たな成長産業を創出するための次世代産業支援策  
④制度融資の拡充、シニア人材による課題解決のための各種サポート等の中小企業支援策  
⑤地域商業の活性化等商業・サービス産業の支援策  
⑥企業誘致政策  
⑦おもてなし日本一を目指した魅力ある観光推進策

では、①中国ビジネス、ASEANビジネス支援等の海外展開支援、②ワンストップ、オーダーメイドで迅速に対応する企業誘致活動の展開、③新エネルギー、新技術・新製品開発支援等の成長産業創出・参入支援等による産業おこし策により雇用創出を目指していく。  
二、埼玉版ウーマノミクスプロジェクトの推進  
本プロジェクト推進の趣旨は、生産年齢人口が減少する一方で出産を機に離職する女性の比率は、また高いままとなっている現状を変革し、女性がいきいきと夢を持って活躍できるように社会進出を進め、女性が得た収入を消費や投資に使い、それが地域経済の活性化につながるよう



講演する中原健一氏

細な説明が行われた。  
説明の概要は以下の通り  
一、ハローワーク特区の推進  
昨年開設した「ハローワーク浦和・就職支援サテライト」により、多様な雇用ニーズへの積極的かつきめ細かな対応を実施する。  
二、若者の就業支援  
丁寧なマッチングによる新卒就業支援、フリーター等の正規雇用化支援等、若者の就業支援を積極的に推進する。  
三、女性の再就職支援  
働くことを希望しながら、仕事と子育ての両立や離職後のプランクに不安を持ち、求職活動への第一歩を踏み出せず悩んでいる女性に対し、女性キャリアセンタ―等を通じきめ細かな就業支援や資格や経験等を活かした再就職支援を実施する。  
四、障害者の就労支援  
障害者雇用サポートセンターによる事業所支援に加え、短期雇用体験制度の新設や定着支援センターの開設等により障害者雇用の受け皿拡大と離職防止の両面を強化する。  
五、産業人材の育成  
新規学卒者や様々な求職者を対象に職業訓練を実施するとともに中小企業等の在職者を対象に技能向上訓練を実施するなど時代のニーズに対応した多様な職業訓練策を展開する。

九名、四三名の方々が参加した。  
今回のセミナーは、昨年九月に開催した二四年度第三回ウーマノミクス推進委員会の「活躍するための実践コーチングセミナー」で講師を務めていただいた、ビジネスコーチ(株)パートナービジネスコーチでBCS認定プロフェッショナルビジネスコーチである加地照子氏に務めていただいた。  
セミナーは講義とワーク等で構成され、経営に成果をもたらすリーダーであるためのリーダーシップ・マネジメントの内容について理解を深めるとともに、コーチング実践法等について体得することを目的に開催した。  
各回のプログラムは以下の通り。  
一、マクロ(顧客)の視点から自己の立ち位置を知る。  
・「生きる喜びは、仕事とともにある」  
・企業が持続成長を遂げるための必要条件とは  
・物事を考える「三つの原則」  
・顧客が求める価値に近づくため自社を知る  
・組織の中における自己の役割と価値を知る  
・サービスを上回るホスピタリティを目指す  
二、マイクロ(組織)の視点からリーダーとしての役割を知る。  
・リーダーに求められる最大にして最重要な要素を知る  
・多様な「価値観」を容認し、「志」「ミッション」とビジョンを持つ  
・リーダーシップはマネジメントを内包する  
・コーチングはティーチングを内包する  
・組織における行動の基準について考える  
・「思考の枠」と「成功の循環モデル」  
三、事例研究  
・部下との相互理解を確かなものにする

二五年度第一回・第二回ウーマノミクス推進委員会  
『経営に成果をもたらすリーダーであるためのリーダーシップ・マネジメントセミナー』を  
二回シリーズで開催

四月一〇日(水)、二四日(水)の両日の一三時三〇分よりソニックシティビル四階市民ホールにおいて、二五年度第一回・第二回ウーマノミクス推進委員会が『経営

に成果をもたらすリーダーであるためのリーダーシップ・マネジメントセミナー』と題してシリーズで開催され、それぞれ三

世界のリーダーを育成しているトップ、ヘッセルバインの言葉  
- 10年後も成長しているためのチェックリスト -

レ点	チェック内容
1	<input type="checkbox"/> ミッションを三年毎に正式に見直し、必要に応じて修正や改定をしていますか。
2	<input type="checkbox"/> 組織全体をミッションのもとに結集させ、全員がミッション（組織が活動する意義、存在する理由、目的）をすらすらと言えますか。
3	<input type="checkbox"/> 戦略的目標を目に見える違いを生み出せるごく少数の構想に集中していますか。
4	<input type="checkbox"/> 計画的廃棄を実行していますか。
5	<input type="checkbox"/> コミュニケーションの定義を「言う」から「聞いてもらう」に変えていますか。
6	<input type="checkbox"/> イノベーションを、単なるテクノロジーの改良ではなく「飛躍的成長」と捉えるような、気構えを持ったリーダーを育成していますか。
7	<input type="checkbox"/> 職務のローテーションと拡大は、長期計画の一環として、組織全体で大々的に取り組んでいますか。
8	<input type="checkbox"/> 組織のあらゆるレベルにリーダーがいて、リーダーシップを発揮できる状態にしていますか。
9	<input type="checkbox"/> 組織のミッションと価値観を、思考でも行動でもコミュニケーションでも表せるリーダーを登用し、彼らとともに組織を正面から導いていますか。
10	<input type="checkbox"/> テクノロジーは主役ではなく、ツールであると認識し、ニーズやスタイルの変化に応じてツールを変えていますか。自分たちが未来の形を決めていますか。
11	<input type="checkbox"/> あらゆる職務や計画にマーケティング思考＝「顧客の身になって考え、顧客が大切だと感じていることに耳を傾け、応えていくこと」を浸透させていますか。
12	<input type="checkbox"/> 組織メンバーの強みを活かし、弱みを無効化できるようにしていますか。
13	<input type="checkbox"/> リーダーシップ養成のための予算を割り、全てのメンバーに学習の機会とリソース（資源）を割りあてていますか。
14	<input type="checkbox"/> 住民が私たちを見たとき、「ああ、自分はこの人たちの仲間だ」と感じさせられるようにしていますか。
15	<input type="checkbox"/> 組織の内外でも、あらゆる組織に通用する言葉を使い、共通認識をもっていますか。
16	<input type="checkbox"/> 企業の壁を越えてリーダーシップを発揮し、自分たちの組織を健全で一体感のあるコミュニティの一部としていますか。シナジー効果や成功や意義をもたらすパートナーシップ、提携関係、協力関係を築いていますか。
計	

出所：フランスス・ヘッセルバイン著、谷川謙訳 2012「リーダーの使命とは何か」海と月社、より加地が抜粋構成

講演する加地照子氏  
(第1回)



講演風景 (第1回)



グループワーク  
(第2回)



グループ意見を  
発表する参加者 (第2回)



ための二〇の「悪癖」を見つめる  
・ 行動変革を目的としてセルフコーチングの取組テーマを決める

【第2回(四月二四日)】

- 一、経験知(個)の視点から自己理解を深める
  - ・ 人により異なる「成長段階」
  - ・ ワークライフバランスに配慮して部下を動機づける
  - ・ 相互承認のない職場は?
  - ・ 職場の働きやすさと働きがい
  - ・ 多様な人材の持つ「四つの行動スタイル(現実派、社交派、理論派、友好派)を知る

- 二、組織遂行力を高める
  - ・ 部下の人材分析を行う
  - ・ クライアントに望まれる三つの条件
  - ・ コーチとなるわたしに望まれることは?

- ・ ビジネスコーチングにより自発的行動を促す
- ◆コーチングに不可欠な要素

第一回企業戦略研究会

『最新のM&A動向と第二創業のためのM&A活用法』についてM&Aキャピタルパートナーズ(株)櫻井哲博氏が講演

足元の経済情勢は、アベノミクス効果等により景気は回復傾向にあり、また企業収益は改善してきております。

しかしながら、人口減少社会の到来に伴う市場縮小、グローバル化の進展に伴う新興国企業との競争激化等企業経営を取り巻く経営環境の厳しさは、従来型経営からの脱却を容赦なく迫ってきております。

こうした状況下、新市場開拓などを通じ、自社の経営構造を変革・転換する試み、いわゆる「第二創業」をM&Aを活用

傾聴↓共感↓承認↓質問↓助言  
・ 二種類の承認を場に応じて駆使する  
◆行動承認…「感謝する」「褒める」「評価する」「叱る」

- ◆存在承認…「挨拶する」「名前を呼ぶ」「変化に気づく」「声掛けをする」
- ・ P D C A を確実にして組織推進力を向上させる五つの質問
  - ①うまくいった原因は何か?
  - ②うまくいかなかった原因は何か?
  - ③うまくいかなかったことは何か?
  - ④うまくいかなかった原因は何か?
  - ⑤次の一手は何か?

- 三、事例研究…信頼を獲得するために
  - ・ トップの行動姿勢を学ぶ(詳細は別掲の「世界のリーダーを育成しているトップ、ヘッセルバインの言葉」10年後も成長しているためのチェックリスト参照)
  - ◆トップの方々の考えていること?
    - ・ 今後実践することは、「タイムマネジメント」「自己啓発」
    - ・ 自己に付加価値をつけるために

用して取り組む企業が出てきております。一五年度第一回の企業戦略研究会は、こうした企業動向を踏まえ、五月一日(水)十四時より、ソニックシティビル四階市民ホールにおいて開催され、M&A専門コンサルティング会社であるM&Aキャピタルパートナーズ(株)の営業第一部長櫻井哲博氏が「最新のM&A動向と第二創業のためのM&A活用法」をテーマに講演し、二九の方が参加した。

講演の概要は以下の通り  
◆最近のM&Aの動向をみると、金融緩

和、グローバル化、国内市場の縮小、人口減少・少子高齢化の進行、IT化・スビード化の進行等、日本企業を取り巻く経営環境の急速な変化に加えて中小・中堅企業の経営者の高齢化、深刻化する後継者不在等を要因としてM&Aが増加している。

◆M&Aの実施目的としては、現事業では成長性がなく、先行きが不透明であるといった成熟期から衰退期の業種・業態の企業が、将来性のある事業の取得、魅力的な会社への転換を図るといふ第二創業を目的としたものが多くなっている。

◆第二創業的なM&Aの具体例としては、富士フィルムが医薬品関連事業の育成を目的とした富士化学工業へのTOB実施、ワタミが有料老人ホーム事業、宅配弁当事業強化を目的としたアール・タクシヨウの買収などがあげられる。

◆M&Aを成功させる秘訣としては、買い手側企業が明確な将来ビジョン、企業戦略を描いていること、タイミング、リスクの可視化、そして譲渡企業のオーナー、役員、社員への配慮等が重要

なポイントとなる。

◆譲渡企業になり得る企業としては、健全な財務基盤を有している、業界再編が進行中の業種、成長が見込まれる市場に立地している、特徴のあるビジネスモデルを有していること等をあげることができる。

◆買い手がつきやすい企業の具体例としては、医療・介護・福祉系の企業、マシソン管理、ビルメンテナンス等ストック型の収益モデルを有する企業、食品スーパー、家電量販店、業務用食品卸等が代表的である。



講演する櫻井哲博氏

## 第一回グローバル委員会

# 『これからの中国と現地法人のリスクマネジメント』をテーマに一般財団法人アジア再生ビジネス支援機構代表理事川村忠隆氏等が講演

二五年度第一回グローバル委員会は、五月二日(水)一三時三〇分より、ソニックシティビル四階市民ホールにおいて、「これからの中国と現地法人のリスクマネジメント」をテーマに開催され、五六名の方々が参加した。

まず、講演一として一般財団法人アジア再生ビジネス支援機構代表理事の川村

忠隆氏から「これからの中国の抱える課題、そして経済構造改革・産業政策の行方」と題して講演が行われた。

川村氏からは、まず①投資から消費へのシフトを狙う経済成長の方針転換、②「省エネ・環境」「次世代IT」「バイオ」「ハイエンド設備」「新エネルギー」「新素材」「エコカー」の戦略的振興七業種

を強化していく産業政策、産業構造改革、③都市化推進と地方振興をポイントとする第二回五年計画の概要説明が行われ、併せて中国の高度経済成長は終焉を迎え、今後は七〇程度の成長で推移するとの見通しを示された。

続いて、人件費を中心としたビジネスコストの上昇、各種法令適用の厳格化等中国進出企業を取り巻く厳しい経営環境について詳細な説明が行われ、最後に進出企業には迅速適切な意思決定と明確な指揮命令、役割と権限の明確化等、適切なガバナンスが不可欠である旨の提言が行われた。



講演する川村忠隆氏

## 第一回CSR委員会

# 『発達障害者支援・雇用促進セミナー』開催

二五年度第一回CSR委員会は、五月二日(金)一三時三〇分より、ソニックシ

ティビル四階市民ホールにおいて、「発達障害者支援・雇用促進セミナー」とし

休憩をはさんだ後に行われた講演二は、同機構理事で中国人弁護士の賈暁海(ジャシヨウカイ)氏より、「法務・税務リスクマネジメントの重要性と事例研究」中国進出時・進出後の問題点と対応について」と題して行われた。

事例研究では、「土地資産価値」「関連会社間の借入」「労務管理」「就業問題」「財務管理」「契約内容の重要性」「行政的手段」「訴訟手段」「秘密保持契約」「技術ライセンス」「合弁契約の重要性」等に関する事例説明と具体的な対応策について詳細な説明が行われた。



講演する賈暁海氏

て埼玉県福祉部福祉政策課との共催で開催され、一七名の方々が参加した。セミナーは、埼玉県福祉部福祉政策課政策幹久清志氏の開会挨拶に始まり、続いて三つの講演が行われた。

講演一は、埼玉県発達障害者支援センター「まほろば」センター長藤平俊幸氏より「発達障害の理解」と題して講演が行われ、発達障害の主な診断内容、自閉症者等の支援に関する視点、本人並びに周囲の環境への働きかけ、活動場面での具体的なアプローチ、相談支援機関、障害者雇用等について具体的な説明が行われた。

最後の講演三では、社会福祉士事務所ひびき代表の芹澤忠行氏より、「当事者の就労において理解して欲しいこと」と題して講演が行われ、発達障害を持つ人が働きやすい職場環境の配慮・工夫、発達障害者の強み、健康状態の管理について説明が行われ、最後に埼玉県より今年三月に発行された「青年期・成人期の発達障害を理解し支援を広げるサポートブック」の紹介が行われた。

参加者からは、「発達障害者支援の必



開会挨拶をする知久清志氏



講演する藤平俊幸氏



講演する石井京子氏



講演する芹澤忠行氏

要性を認識することができた」「発達障害者への対応に関する具体的事例の発表がありとても参考になった」等の声が寄せられた。

今後本会では発達障害者支援・雇用促進等への取り組みを実施していく予定で。

## 第一回少子高齢化対策研究会

# 『少子高齢化・高度情報化の進行を踏まえ今後のマーケティング戦略を考える』と題してニッセイ基礎研究所久我尚子氏が講演

二五年度第一回少子高齢化対策研究会は、六月三日(月)一四時より、ソニックシティビル四階市民ホールにおいて、ニッセイ基礎研究所生活研究部門研究員久我尚子氏を講師としてお迎えし「少子高齢化・高度情報化の進行を踏まえ今後のマーケティング戦略を考える」と題し開催され、四一名の方々が参加した。

講演は「若年層」「シニア層」「女性」に分け、それぞれの動向について興味深い説明が行われた。

講演の概要は以下の通り

◆若年層の動向  
・厳しい経済情勢にあるものの、目先の所得は案外ある。また、未婚者が多くお金や時間を自由に使いやすい。さらには、デフレや情報技術の進化、成熟した消費社会の恩恵など新たな価値観



講演する久我尚子氏

も有している等から高い生活満足度を有している。

・消費行動の特徴としては、情報収集や比較検討は必ず行い、価格よりもコストパフォーマンスに厳しい。一方安全や環境を重視する現代の若者らしい価値観も保有している等の特徴を有する。将来に不安を抱きつつも、現状は案外充実した消費生活を送っており、消費



講演を聞く参加者

者として厳しい選別眼や新たな価値観を保有している。  
・若年層に対しては安いだけではなく、付加価値があるなどコストパフォーマンスに見合う商品訴求が不可欠。また、今後は男女の趣味のボーダレス・ゾーンなどに商機の可能性がある。

### ◆シニアの動向

・既に大きな人口ボリュームを有するとともに今後更にそのボリュームが増加する。加えて膨大な家計資産を保有している。  
・今後のシニアの特徴としては、インターネット利用、ひとり暮らしシニアの増加、健康維持重視、そして非日常よりも日常生活を重視する等の特徴をあげることができる。  
・シニアビジネスへの取り組みとしては、

## 第一回人事労務委員会

# 『働きがいのある会社を目指して。』講演・事例発表・パネルディスカッションを開催

現下の我が国企業を取り巻く経営環境は少子高齢化の進行、人口減少社会の到来、グローバル競争の激化など、引き続き厳しい情勢が続いている。企業の成長・発展を目指し各社で様々な取り組みがなされているが、厳しい状況が続く今だからこそ、尚更、社員の働きがいを高める取組みや諸制度の重要性が高まってきている。

こうした認識に基づき、二五年度第一回目の「人事労務委員会」は六月四日(火)一三時三〇分より、ソニックシティビル四階市民ホールにおいて「働きがいのある会社を目指して」をテーマに講演、事例発表、パネルディスカッションという盛りだくさんのプログラムで開催し、三〇名の方々が参加した。

ネット展開が益々重要となり、日常生活を充実させるメリハリをつけた消費という観点が狙い目。

### ◆女性の動向

・女性の特徴としては、時間もお金も自由に使いやすい未婚女性が増加するとともに、既婚女性も働く女性が増えることから自分の財布を持つ女性も増加する。また、ライフステージの変化があってもオシャレを楽しみたいという欲求強い。

・今後も働く女性は増加傾向であり、財布を持つ女性が増加することで、使える額の差はあるが女性の購買力はさらに高まる可能性がある。

・未婚女性は恒常的に注目すべき存在であり、働く母は効率的、オシャレ、家族と楽しめることが攻略のキーワード。

プログラムは、まずGPTW (Great Place to Work) の日本代表和田彰氏から、GPTWのミッションの説明に続いて、「働きがいのある会社調査」について詳細な説明が行われた。

続いて、GPTW調査の全国ランキング入賞企業である東京海上日動システムズ(株)の人事部課長澤中克之氏、(株)イノベーション代表取締役富田直人氏より各々の会社の具体的な取り組みについて事例発表が行われた。

そして、休憩を挟んで、「経営理念が働きがいにどのような影響を及ぼすのか」経営理念と働きがいの関係性について」をテーマに和田氏、澤中氏、富田氏の三氏によるパネルディスカッションが行われた。



講演する和田彰氏



事例発表をする澤中克之氏



事例発表をする富田直人氏



パネルディスカッション風景

# 『暴力団の現状と企業における暴力団対策』 埼玉県警察本部による講演、

## ルールプレイングを開催

### 第一回地域社会問題委員会

平成二十五年第一回地域社会問題委員会は、六月十二日(水)一三時三〇分より、ソニックシティビル四階市民ホールにおいて、『暴力団の現状と企業における暴力団対策』をテーマに開催し、五八名の方々が参加した。

委員会は、まず本会副会長である光山由一委員長(東日本電信電話(株)埼玉支店長)より開会の挨拶が行われ、続いて埼玉県警察本部 刑事部組織犯罪対策局捜査四課 暴力団排除対策室長 石井堅次埼玉県警視が、『暴力団の現状と企業における暴力団対策』というテーマで講演を行った。石井警視は、埼玉県警察本部が発刊している「許すな!暴力団」(不当要求の手法と対応要領というリーフレットを用いて、

①不当要求を防止するために法的手段の活用を  
・二七の暴力的要求行為の事例と対応例  
②暴力団等反社会的勢力との対応の基本  
・平素の準備が肝心  
・対応の基本的な心構え  
・具体的対応の十二則  
③不当要求とその対応Q&A

など説明し、「蟻は一時的には駆除できても餌玉があればまた発生し、餌玉に群がる。蟻は暴力団で、餌は金、暴力団根絶のために企業の皆さんも餌玉は絶対に投げないようにしてほしい」と訴えた。続いて、暴力団の不当要求や売買契約などに関する



開会挨拶する光山由一  
地域社会問題委員長(本会副会長)

講演した石井堅次埼玉県警視(埼玉県警察本部刑事部組織犯罪対策局捜査4課暴力団排除対策室長)

るトラブル事例とその対応方法をDVD化した「決別への道」を視聴し、後半の部では埼玉県警察本部の方と参加者により暴力団とのトラブルに関する想定に基づく「ルールプレイング」が行われた。

#### ■ルールプレイング実演・指導・講評

埼玉県警察本部 刑事部組織犯罪対策局 捜査四課 暴力団排除係長 埼玉県警視補 翠田真吾氏  
暴力団排除係長 埼玉県警視補 滝澤光司氏  
暴力団排除主任 埼玉県巡査部長 木村拓郎氏  
想定一 暴力団登録のある者との契約に関するトラブル  
想定二 暴力団員との交通事故を巡るトラブル  
想定三 書類の郵送

ルールプレイングでは、滝澤警視補と木村巡査部長が暴力団役に扮し、参加者との迫力あるルールプレイングが行われた。講評した翠田警視補は、暴力団に対応する際の心構えとして、

①毅然とした態度：必要以上に恐れない、侮らない。  
②信念と気迫：不当要求には決してくじけないという強い意志。  
③冷静な対応：挑発に乗らない、挑発しない。

などが肝要で、相手や用件の確認、有利な場所での面談、対応内容の記録化、社内一丸体制も重要であると指導した。また、「企業だけの要請でも講習なども行っているので、遠慮なく相談してほしい」と広報した。

#### 【講習の問合せ】

埼玉県警察本部刑事部組織犯罪対策局 捜査第四課 Ⅷ〇四八―八三二―〇一一〇



参加者とのルールプレイング

### 青年経営者部会総会開催

## 埼玉全国大会開催のため

### 副部長一名増員議決

青年経営者部会の平成二十五年定時総会が五月二十日(月)午後、浦和ロイヤルパインズホテルで、ご来賓に藤池誠治埼玉県経営者協会副会長を迎え二十四名が参加して開催された。

総会には川本武彦副会長(株サイサン・社長)が議長となり、平成二十四年度事業報告、同決算報告。続いて平成二十五年事業計画案、同事業予算案が提案され、それぞれ原案通り承認された。

この後、来年の全国大会開催の成功のため、副部長一名増員の提案がなされ、原案通り内藤 岳(内藤環境管理・常務)が新副部長として選任された。挨拶に立った川本武彦副会長は、「円が安くなってきたとはいえ、なおデフレ経済の厳しい経営環境の中にあっても、常に高い目標を掲げ前進する会にしたい。

また、組織拡大に力を注ぎ、会員増強を図り、企業経営に役立つ講演や勉強会等々を企画するなど、毎月魅力ある例会を開催していきたいと、さらに一年後の全国大会埼玉開催に向け基礎を固めるべく邁進したい」と抱負を述べた。そして、「埼玉での全国大会を成功させるためにも、是非今期の神戸での全国大会に積極的に大勢参加して頂きたい」と要請した。

総会終了後の特別講演では、テーマを「資産運用を学び企業経営に活かす」と題し、コーワ株式会社代表取締役社長の高橋 将(たかはし すずむ)氏の講演を拝聴した。その豊富な経験、経歴に基づいた話は、今後の経営や資産形成に大変参考となるご講演を頂いた。



挨拶する川本副会長



講演するコーワ(株)の高橋将社長

引き続き開催された懇親パーティーの部では、栗原志功会計監事(もしん・社長)の軽妙、洒落な司会・進行で行われ、藤池埼玉県経営者協会副会長から内藤副部長への依嘱状の授与とご祝辞を頂いた。

藤池親会副会長は「青年経営者部会の活動は多くの若手経営者の手本にもなっており、多くの会員を集め、大いに活性化していただきたい。そして、今後とも、親会と一致団結し、県産業界の発展に貢献する活動を展開して欲しい」と挨拶された。

続いて、内藤新副部長から、埼玉での全国大会開催成功に向けた力強い挨拶があった。

その後、新特別会員、古川元一氏(川口土木建築工業)、梶原靖友氏(梶原工業)への記念品贈答が行われ、お二人にご挨拶を頂いた。

続いて、齊藤敏雄部員(太陽管財・社長)の音頭で乾杯が行われた。

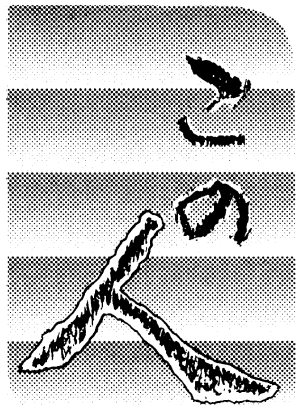
懇親パーティーには、2013年のミス・ユニバース・ジャパン埼玉大会グランプリ受賞者も参加し、来年の埼玉での全国大会の話題で大いに盛り上がった。

さらに、富澤慎太郎(サンフレッセ・取締役)新部員から「猪木」以上の元氣溢れる自己紹介を頂いた。

懇親会は、藤池親会副会長を囲みながら、本来の目的である会員相互の啓発、情報交換が一層深められ、最後に、中締め挨拶を三友哲哉部員(八千代紡織・取締役)に頂き散会した。



藤池副会長より依嘱状を授与される内藤岳新副部長



# 大宮アルディージャ 代表取締役社長 鈴木茂氏

に運動不足解消のため週二〜三回は自宅周辺をジョギングしている。趣味は色々あるが、特に映画鑑賞。中でもアクションものは大好きだという。「映画を観れば世相がわかり、若い人の考えも少しは理解できる」。趣味と実益を兼ねているという。  
現在は妻と次女との三人暮らし。時々、嫁いだ長女と次女の娘二人と酒を交わすことが一番の楽しみとのこと。

今年のJ1リーグ戦で躍進を続ける「大宮アルディージャ」。「この人」は大宮アルディージャの鈴木茂代表取締役社長。面会した印象は気さくで、何でも相談に乗ってくれそうな温かさを感じる人である。

鈴木社長は、一九五二年十二月二四日、山形県米沢市生まれ。還暦の六〇歳。人生も仕事も新たな一歩を踏み出している。

中学校一年からバスケットボールを始め、中学時代は続けたが、メキシコ五輪でサッカー日本代表が銅メダルを獲得したことに刺激され、サッカー選手に憧れ山形県立米沢興譲館高校一年



大宮アルディージャ  
鈴木茂代表取締役社長

から本格的にサッカーに邁進した。ポジションはセンターバックやサイドバックなどのディフェンダー。

その後、順天堂大学体育学部に入學。大学時代もサッカー選手として活躍し、卒業後は日本電信電話公社に入社。同時に一九六九年創部の電電関東サッカー部（後のNTT関東サッカー部）に入部。選手で活躍していたが、体調を壊し、四年間で選手活動は諦めた。

一九九八年、NTT関東サッカー部は旧大宮市をホームタウンとして、チーム名を「大宮アルディージャ」に改称、翌年一九九九年、J2に参戦した。鈴木社長は当時のクラブ立ち上げに尽力、その後、五年間大宮アルディージャの取締役事業部長を務め、二〇〇五年のJ1昇格に貢献した。

鈴木社長は日本電信電話公社時代の二十代後半には人事・労務を担当、組合対応なども含め、人と関わる業務を通じて、人との関係を学び、何よりも人との「和」が大事であることを強く感じた。

鈴木社長は、小学校、中学校時代の九年間、父親の転勤の関係で六回転校し、新たな同級生達と「どうすれば早く溶け込み、うまく付き合っていけるのか」を常に考えていた。就職してから感じた「和」の大切さは、子供の頃から育まれたのではないかと振り返る。

そんな社長が心がけているのは「人に優しいクラブ運営」、何よりも人を大切にしていきたい。二〇一〇年十月、社長就任後すぐに手掛けたのはクラブの新たなビジョンづくり。トップダウンではなくクラブスタッフをはじめ、チームを統括するゼネラルマネージャーや監督の意見を聞きながら新しいクラブ理念とビジョンを考えたと。就任三年目の今年には、クラブハウス（オレンジキューブ）および練習場を現在地に移転・完成させ、新たな一歩を踏み出した。

これを機に今年七月には、新しい環境での初年度として、クラブビジョンの具現化の先にある姿を策定する「オフサイトミーティング」を開催する。オフサイトミーティングは、クラブスタッフ全員が一泊二日の合宿で、テーマを決めてディスカッションを行い、クラブビジョンの具現化について話し合う。

そこで出された意見をもとにグラウンドデザインとなるものを策定し、同じ目標に向かっていく。これも鈴木社長の人を大切にし、皆の意見を尊重するという意識の表れである。

最後に、若手に期待することはという質問には、「やりたいことをやって、とにかく挑戦してほしい。他の企業ではできないような挑戦もJリーグクラブという特殊な世界ならできることも沢山ある。コンプライアンスやガバナンスを守りつつ仕組みやシステムを変えるチャンスはいくらでもある。挑戦の結果、失敗しても、最後は上司が責任をとれば良い。怖がらず前進してほしい」と微笑んだ。あらためて社長のお人柄を感じた瞬間だった。

還暦を迎えた鈴木社長は、体力維持を目標

## 〔略歴〕

一九五二年十二月 山形県米沢市出身

## 〔学歴〕

一九七一年三月 山形県立米沢興譲館高等学校卒業

一九七五年三月 順天堂大学体育学部卒業

一九七五年四月 日本電信電話公社 入社

一九九九年八月 エヌ・ティ・ティ・スポーツコミュニケーションズ(株) (大宮アルディージャ)

二〇〇四年七月 取締役事業部長

二〇〇八年七月 東日本電信電話(株) 取締役

二〇一〇年十月 エヌ・ティ・ティ・スポーツコミュニケーションズ(株) 代表取締役社長

二〇一三年四月 (株)Jリーグメディアプロモーション 取締役(非常勤)

一九七五年四月 電電関東サッカー部入部 (一九八五年よりNTT関東サッカー部に名称変更)

二〇〇二年三月 JリーグGM講座 修了

二〇〇五年三月〜二〇一〇年十月 Jリーグマッチコミッショナー

# スポーツを通じて夢と感動をわかち合える、 より良い地域社会の実現に貢献します

大宮  
アルディージャ

## 大宮アルディージャの歴史

私たち大宮アルディージャは、1969年に前身である電電関東サッカー部（のちのN.T.T.関東サッカー部）が活動を始めて今年で45年を迎えます。当時はアマチュアチームとして、社員選手が中心となり、ここ埼玉県で活動を開始いたしました。埼玉県リーグから始まり、関東社会人リーグ、日本リーグと地道に活動を行うことでチームの強化を図り、1999年からJ2リーグ戦に参入することとなりました。Jリーグ参入に際しては、埼玉県大宮市（当時）をホームタウンとさせていただきます。その背景には、アマチュア時代に大宮公園サッカー場（現NACK5スタジアム大宮）をホームスタジアムとして活動していたことが挙げられますが、大宮市による招致活動や地域の皆さまにご協力いただいた署名活動など、まさに地域の皆さまによって大宮という地をホームタウンとして認めていただき、「大宮アルディージャ」というクラブ名を名乗らせていただくことになったと思います。まさに私たちは地域の皆さまに支えられ今日

## N.T.T.関東サッカー部時代



支えられ今日

があるという思いを日々強く持つております。

## 未来に向けて

2011年には、大宮アルディージャが目指すものを表現するクラブ理念を見直すとともに、50年・100年と続くクラブの2020年までの中期ビジョン「Ardia Vision 2020」を発表し、ともに「」を発表しました。このビジョンはクラブスタッフを始め、チームを統括するゼネラルマネージャー、指揮する監督などクラブ全員で意見を交換し決定しました。このビジョンは3つの「未来」で構成されており、まず「地域の未来」を最初に掲げたのは、これまで地域の皆さまに支えられてきたこと、そしてこれからも地域の皆さまとともに共存していくこと、地域のお役に立つために何をすべきかを一番に考えているからのことです。このビジョンはクラブ理念に通じるものであり、より良い地域社会の実現につながるべく、つなげていくものと捉え、日々多くの皆さまに支えられ活動を続けてお

支えられ今日

## 地域活動の様子



支えられ今日

## 2013年 新クラブハウス

練習場完成  
今年1月には、念願であったホームタウンさいたま市にクラブハウス・練習場が完成しました。クラブハウス、オレンジキユープは、クラブビジョン実現に向けての基盤となり、ホームタウンの皆さまとの交流を活性化させる重要な役割を担っております。オレンジキユープが地域コミュニティの形成のお手伝いをさせていただきます、地域の皆さまが誇りに思っている、ただけの場となるよう活動をしていくとともに、ホームタウンの皆さまとクラブの未来をともに歩み、未来をともに創り上げていける場として活動してまいります。



## オレンジキユープ

現在国内トップリーグであるJ1での闘いが9シーズン目を迎えました。これまでの8シーズンは、毎年残留争いを続け、ご支援をいただき皆さま、支えてくださる皆さまには大変ご心配をおかけしていましたが、今シーズンは第17節を終了し現在2位、また昨年9月からの21戦無敗というJ1リー

グ記録を樹立することができました。しかしながらリーグ戦の闘いは12月まで続きます。さらに大宮アルディージャとして、Jリーグでの闘いは永く続いてまいります。地域の皆さまと共に闘う力で、NACK5スタジアム大宮でひとつでも多くの勝利で喜びをわかち合ひ、ここさいたま市に新たな歴史を築いていけるよう、これからも闘ってまいります。



勝利後の歓喜

2020年までのクラブビジョンの実現に向けて、さらには「夢と感動をわかち合える、より良い地域社会の実現」のために、これからも大宮アルディージャは、ここ大宮を中心として様々な活動を継続的に行ってまいりますので、引き続きご支援・ご声援のほど、よろしくお願ひ申し上げます。

## ※Ardia Vision 2020

「未来を」  
地域の未来  
スポーツを中心とした様々な活動を通じて、地域の発展に貢献します。

クラブの未来  
地域の皆さまに信頼いただける、社会に開かれたクラブを目指します。



**地域で最も信頼される  
ワンランク上の  
銀行を目指します。**

武蔵野銀行は地域共済と顧客尊重を理念として  
形の国をたまたま共に歩み続けてまいりました。  
今、私たちは営業態勢の改革、人材育成や内部管理体制強化を通じて  
「新しい領域を勝ち取る」、「存在感のある」、「信頼される」銀行を追求しています。  
たゆまぬ努力と強い使命感で、地域におけるワンランク上の銀行を目指します。  
これからの武蔵野銀行にぜひご期待ください。

www.musashinobank.co.jp

武蔵野銀行



新しいクオリティへ、新しいスピードで。

**埼玉りそな銀行**

RESONA

http://www.resona-gr.co.jp/saitamaresona/

北部 (株)栗原弁天堂

「農業は歴史の上に立って再設計するチャンスの時期」

熊谷市に本社を置く栗原弁天堂は大正一三年、初代栗原正一氏が弁天堂薬局として設立し、来年で創立九〇周年を迎える。

医薬事業と農業事業の二本立てから、平成一六年に医薬事業を東邦薬品に営業権譲渡し、農業事業中心の事業展開を図っている。

日本の農業は、内外に様々な課題を抱えており、「日本の食糧」を守るといっただけではなく、「自然環境の保全」という観点からも、重要な産業になりつつある。

また、社会環境変化の中で、農業という産業は、益々価値を広げていく分野の一つで、今、まさに転換期を迎えている。



栗原秀樹代表取締役社長

栗原秀樹社長は、これからの変化する農業への対応として、「農業経営全体を考えた、トータル的な視点でソフト、ハード共にワンストップで提供できる会社を目指す」と力強く抱負を語った。

具体的には、①農家と肩を組む、販路などについてもサポートしていく体制、②遊休農地の活用も含めた集約化や省力化も視野に入れた農業経営を目指すためのサポート、③大学との産学連携や地域連携



本社、熊谷物流センター

携による現場の新たなニーズにこたえるための仕組みや工夫の研究など、それ以外にも栗原社長からは次々とアイデアがわき出てくる。

さらに、環境負荷が少なく、安全・安心な「日本型農業」から生まれる農作物だけではなく、管理システムの価値をどう海外に展開していき、海外の気候風土に適した「循環型農業」を広めていくかが、今後の農業ビジネスのキーになる。

今年秋に幕張メッセで開催される第三回農業資材EXPO（通称アグリテックII日本最大級の農業商談展）では、永年培ったノウハウや経験を活かす「再生」や「共生」をキーワードとした農業経営に有益な仕組みや情報提供の発展を検討中である。

岐路に立たされている日本の農業経営に対する当社の挑戦とアイデアの実現が楽しみである。

DATA

所在地	熊谷市佐谷田2967-1
社在電話	048-522-5335
FAX	048-522-4680
代表取締役社長	栗原秀樹
設立	大正13年3月
本資金	1,110万円
社員数	70名
事業内容	農業用薬品・工業用薬品・園芸用資材・肥料等の卸販売、病害虫及び除草防除の請負、他
事業所	埼玉（熊谷市）、群馬（前橋市）、栃木（宇都宮市）、茨城（古河市）、千葉（富里市）

中部 日本自動車管理(株)

「新たな道の創造。やるぞ！本気のサービス道」

さいたま市に本部を構える日本自動車管理(株)は、常に新しい形式の物流とサービスを探索しつづけている企業。

自動車運行管理部門では、企業や運送会社などが手持ちの車両を使用し、運行及び付帯業務などを当社にアウトソーシング（業務委託）することにより、原価を明確にすると共に、固定人件費を含む物流コストの低減や役割におけるリスクを大幅に減少させる効果がある。

また、運送部門では、時代のニーズに対応し、「必要に応じて必要だけ」をテーマにスポット配送を展開している。グループ内の車両をフル稼働し、独自の連絡網によりスピードアップを図り、配送の安全性、確実性、利便性と共に更なる機動力の強化を目指している。



三原宏治代表取締役社長

グループ三社の代表となつて

いる三原宏治社長は現在四九歳。高校を中退して十六歳の時には大手車輻メーカーのローリー製造部門で車輻製造業を経営していた父親の会社に勤務、ところが、父は作業中に足を切断する大けがで一年半以上入院。会社の整理を余儀なくされた。

その後、軽トラを使つての小口配送業務を立ち上げ、一九八五年（昭和六〇年）には、二一歳という若さで関東物流サービスを設立した。そこで、物流サービスの仕組みを体感、問題点や課題などを掘り起こし、そのノウハウを活かして一九九二年（平成四年）には二九歳で日本自動車管理を設立した。



「当社が運行管理している「大宮アルティージャバス」

若くして経営者となった三原社長は、とにかく人と接する機会を増やすことで、人脈が広がり、先輩などからの指導も仰げると確信。青年会議所や法人会、本会などにも入会し、異業種交流によるネットワーク作りを積極的に行っている。

三原社長は、「人との出会いや絆がどれだけ自分に勇気や知識を与えてくれたか計り知れない。異業種交流は勉強になるし、様々な気づきもある」と目を輝かせた。

また、自宅が大宮陸上自衛隊のすぐ近くにあることもあり、幼い頃から自衛隊の大ファンで、自衛隊の行事に参加し、応援することがライフワークとなつている。現在では防衛協会や自衛隊協力会などの様々な要職も務めている。将来ビジョンについては、「緑の下の力持ち的な存在ながら、社会に必要なとされ続けることを探りながら、発想を転換し、従来の常識を覆すサービス道を目指したい」と力強く語った。

DATA

会社名	日本自動車管理(株)
所在地	本部 さいたま市北区日進町1-190 営業本部 さいたま市北区日進町1-173-1
電話	048-652-0027
代表取締役社長	三原宏治
設立	平成4年12月
資本金	1,000万円
事業内容	自家用自動車管理業、貨物運送取扱事業、一般廃棄物収集運搬業
関連会社	(株)関東物流サービス、(株)ケイビーエス



## 南部 星光産業株式会社

### 「自動車の車内用品で 業界をリードする」

星光産業株式会社は、A/Cホルダー・リアトレイ、ポケット・サンングラスホルダー・携帯電話ホルダー、アッシュトレイ・ダストハンガーやキーホルダー・キーケース等々の自動車車内用品の製造販売企業である。

皆様の多くも、平成に入ってから、車内に飲み物用のホルダーを購入なされたことがあったと思いますが、まさに「そのホルダー」等が当社の製品です。

当社の沿革は、昭和二十二年に文具事務用品の製造業として、星光硝子製作所を創業。二十八年、星光硝子製作所(株)として、株式会社組織に変更。三十七年に自動車用品の製造を開始した。



セバレットA/Cホルダー B K



トリプルソケット3 B K

記念の行事を行った。現在、製造は、九十五%が中国であり、約二十年前からの指導と育成が実り、製造上の問題はない。

この業界をリードして行くには、「新商品の開発能力であり、全てと言っても過言ではない」と、宮島秀聡社長は語る。それは、一年で全製品の四分の一が入れ替わる激しさからもうかがえる。

また、自動車の販売台数が多いアジア等の市場としての魅力は、との問いに、中国、インドネシア、ミャンマーそして、インドの国々は、オナードライバーが少なく、自分の車ではないので、車内を飾ったり、快適に、との思いがなく、さらに、収入が少なくて購買力なく、また、日本のように、カー用品を販売する店舗もなく、流通の面からも販売市場としての魅力は少ないとの事。

今後も引き続き、国内販売に力点を置き、シェアをアップし、業容を拡大したいと宮島社長は話された。

#### DATA

会社名：星光産業株式会社  
本社：吉川市大字小松川1561-1  
代表者：代表取締役 宮島秀聡  
設立：昭和28年11月  
資本金：2,300万円  
事業内容：自動車用品製造販売

## 西部 クノールブレムゼ商用車システムジャパン株式会社

### 「車両安全システムを提供する グローバル・サプライヤー」

クノールブレムゼ商用車システムジャパン株式会社は、世界二十七ヶ国、八十七ヶ所に拠点を構え、商用車用ブレーキ及びブレーキ関連製品を扱う世界最大級のクノールブレムゼ・グループ(本社・ドイツ・ミュンヘン)の一員として、日本の商用車用ブレーキシステムの開発、研究、製造、販売を担っている。

同社の製品は、世界の大手商用車メーカーに採用されており、運転支援システムを含めたブレーキシステムをはじめ、パワートレイン関連のシステムを製造しているほか、アフターマーケット用の技術サービスも提供している。設立は、1996年、(株)J



中村 豊代表取締役社長



本社工場

本社を同工場に統合した。クノールブレムゼ社は、主に従来品の製造、ヨーロッパの構成部品の日本市場への拡大、お客様のあらゆる要件を満たすための全面的な技術支援の提供に焦点を当てている。「日本のOEM企業に車両安全システムを提供するグローバルパートナーとしての座を維持したい。」と中村 豊社長は話された。

さらに、安全関連システムのメーカーである同社は、戦略目標を達成するために、全ての部門で「VERY GOOD」から「EXCELLENT」の成績を取られるよう改善していく活動を行っている。「これは、2007年に導入され、クノールエクセレンスと呼ばれており、クオリティが最優先である事を考えると、最終的には、顧客に対して最大のパフォーマンスを実現することである。」中村社長は語った。

#### DATA

会社名：クノールブレムゼ商用車システムジャパン株式会社  
本社：坂戸市につきさい花みず木6-22-1  
代表者：代表取締役社長 中村 豊  
設立：1996年4月  
資本金：390百万円  
事業内容：商用車のブレーキ関連の開発、製造、販売

# 埼玉大学研究者との出会いの広場

シリーズ  
第77回

今回の内容について、ご関心・興味をお持ちの方は、下記にご連絡下さい。  
 埼経協 専務理事 根岸 茂文、事務局次長 宮田 信久 ☎048-647-4100  
 FAX048-641-0924

## 研究の内容

## 産業への展開



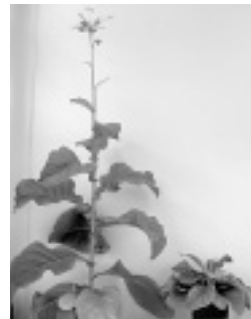
### 閉鎖系植物栽培施設（植物工場）に適応した植物の作出 埼玉大学研究機構環境科学研究センター センター長 高木 優 教授

閉鎖系植物栽培施設（植物工場）は、光源、空調などの稼働に必要な費用が大きく、設置するには初期費用も大きいという問題があります。加えて、採算の合う栽培植物は、まだ限られており、現在商品として生産されているものは、レタスなどの葉菜類やハーブ類のみです。しかし、植物工場は、温度、湿度、光度などの内部環境をコントロールした閉鎖的な空間で植物を計画的に生産するシステムであることから、気候変動に影響しない安定した植物生産を通年行うことが可能です。さらに、外気から遮断することによって、害虫、病原菌などによる影響を受けず、野外では栽培には適さない植物でも無農薬で栽培することが可能となります。このように植物工場は、多くのメリットがあるため、現在、低コスト、低エネルギー型植物工場の開発が進められています。

一方、植物工場に適した形質、特性を持つ植物、例えば多段棚など限られた空間で多数の植物が栽培できる背が低い植物や、弱い光でも良好に生育する植物ができれば、生産コストを軽減できると考えられます。また、医薬原材料などの生産コストに見合う付加価値の高い物質を植物で生産することも一つの考えです。そのためには、安定で安

全な環境である植物工場が必要です。

私たちの研究室は、これまでに植物の形や代謝系を改変できる画期的な植物遺伝子操作技術 CRES-T (Chimeric Repressor gene Silencing Technology) 法を開発し、それらを用いて高バイオマス植物、多弁咲きシクラメン、油脂量が増加した種子、環境ストレスに強い植物など、これまでにない多様な特性を持つ植物を作出してきました。また、この技術を用いて、小型化（背丈が低い）させるなど植物工場に適した性質を与える遺伝子因子を見つけ出しました。これを、物質生産のプラットフォームとして使われているタバコや薬用植物に導入して、抗体生産および医薬原料の増産を可能にするシステム開発を行っています。



図：植物工場に適した形をもつ植物の作出  
 左：野性型  
 右：CRES-T法を用いて矮化させたタバコ植物  
 同じスペースで野性型に比べ7倍量の個体数が栽培可

安全、安定な環境である植物工場に適した形態・形質を持つ植物を分子育種法で作出し、薬用植物などに応用して、医薬原料などの高付加価値植物資の生産を目指す

#### 学歴・略歴

高木 優

(たかぎ まさる)

1986年名古屋大学大学院理学研究科修了。理学博士。1987年通産省工技院微工研研究官、生命研主任研究官、産業技術総合研究所グループ長、2012年埼玉大学環境科学研究センター教授・センター長



### 非接触大面積表面検査装置～先端フォトリソを産業へ～

埼玉大学大学院理工学研究科 数理電子情報部門 塩田 達俊 准教授

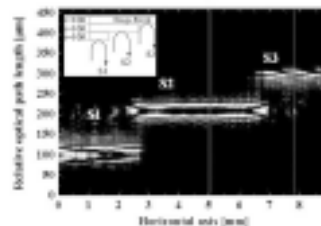
塩田研究室では、光を用いた高い付加価値を持ったセンシング技術を開発しております。例えば、広い範囲でミクロン精度の計測を可能にする光センシング技術です。

非接触かつ非破壊で形状を計測する技術が製造・加工の検査プロセスとして必要とされていますが、既存の計測器では広い面積を高速に測定することは困難な状況にあります。理由は、既存の計測器が1点の計測を行うものがほとんどだからです。3次元的な物体の形状を測定する場合には、測定点を2次元方向にそれぞれ走査することで対応しているのですが、測定対象物の全面を計測しようとすると非常に長い時間を要することになりますので、実質的に適用することが困難な場合が多いようです。

これに対して、本研究室では図に示す様な2次元断層像を測定する技術の研究をしています。この方法では、奥行方向の2次元的な形状を CCD の画面表示速度（フレームレート）でイメージングすることができるので実質広い範囲の形状を計測することが可能となります。光学的な処理により CCD には直接断層像が撮像できるので、画像処理などの演算を必要とせず CCD がもつ高速性能

を最大限に利用することができます。実験室では、測定精度は1ミクロン、深さ方向の計測範囲は10cm程度の形状を一度にイメージ像として取得することに成功しています。物体表面方向はライン状を一括計測するので1秒で数メートルの範囲を計測できます。光を用いて断層イメージングを行う方法として光CTと言われる細胞の3次元画像を観察できる顕微鏡技術がすでに実用化していますが、数mm程度の狭い領域を計測するに過ぎませんが、本研究室で開発した技術は、走査不要で CCD で一度に広い範囲の断層イメージングする技術であり、光CTの技術がもつ高分解能な利点を維持しつつ、広く機械加工や医療用途に適用性を広げる技術です。

最後に、産業応用を考えて、“測定精度を落とさずに広い範囲を計測する”ことの重要性に向き合い今後も研究を進めるつもりです。



断層イメージングによる表面のキズや埃、塗装の厚さなどの表面検査に展開できるとおもいます。

#### 学歴・略歴

塩田 達俊

(しおた たつとし)

2002年東京工業大学大学院修了。博士（工学）。米国ケース・ウェスタン・リザーブ大学博士研究員、2004年東京農工大学助教、2008年長岡技術科学大学准教授を経て2013年4月から現職。

# 「ものづくり大学」へようこそ

連載  
第58回

今回の内容について、ご関心・興味をお持ちの方は、下記にご連絡下さい。  
埼経協 専務理事 根岸 茂文、事務局次長 宮田 信久 ☎048-647-4100  
FAX 048-641-0924



## 鋳造 CAE の精度向上のための実験研究

製造学科 鈴木 克美 教授

ダイカストや砂型・金型鋳造など鋳造分野における金属の流れ不良やブローホール発生防止は経験や勘に基づき対策するケースが多いのが現実です。近年、CAEの導入が進んでいますが、欠陥予測としてまだ十分とはいえず、構造解析CAEのような解析ツールにまでは成熟していません。応力解析による鋳物冷却時の変形予測についても、鋳型の高温物性値が測定できないため、CAEシミュレーションでは未解決の分野です。

当研究室ではいくつかの鋳造CAEの精度向上のための実験を行い、整合性を評価するための研究を行なっています。アルミ合金ダイカストでは射出スリーブ内のエアの巻き込みやスリーブ表面で金属が凝固した破断チル層の介在により製品品質が低下します。そこでスリーブ内の金属の流れを直接観察する「可視化」研究に着手し、業界で初めてその挙動を高速カメラで撮影することに成功しました。大学にある小型ダイカストマシンと同じスリーブ径の耐熱ガラスをエアシリンダーに取り付けて、溶融アルミ合金を流し込み、各種射出条件を変化させた場合のスリーブ内の金属挙動を観察しました。その結果

から水モデルやCAEシミュレーションとの比較を行い、次にスリーブに給湯した直後に発生する凝固層に見立てた「擬似破断チル層」の射出時の挙動を水実験で観察して製品に混入しないようでビスケットに残る条件を創出しました。射出条件とチップの特殊形状です。その結果は製品での解析に役立てられ、実際の工場での不良が激減できました。



図1 溶融アルミの射出可視化実験



図2 シミュレーション解析

砂型の凝固収縮による変形予測では高温における熱物性値が測定できないために、実験による鋳型温度変化の実測データから、CAE解析とのフィッティングを試みています。冷却時の変形挙動は鋳型を介して鋳物の直接変位測定技術により、CAEと比較してより高精度な解析を進めています。

CAE解析は現場でのデータ整備を活用することで今後、より高精度な解析へステップアップすることが期待されます。

鈴木克美（すずきかつみ）教授、工学博士、技術士（金属加工）早稲田大学理工学部博士課程卒、早稲田大学鋳物研究所、日本碍子㈱、旭テック㈱勤務を経て2007年からのものづくり大学客員教授、特任教授から教授。日本鋳造工学会関東支部理事、素材材センター編集委員、日本ダクタイル鋳鉄協会副会長



## 教育機関と建設業の連携による施工管理技術者教育

建設学科 三原 斉 教授

日本の建築技能者教育（職人の教育）は、伝統的には徒弟制度のなかで行われてきました。一方、現代の技能者教育は、現場内での技能の習得や、現場外での職業訓練校、専門工事業団体が主催する講習会や研修会で行われ、その中で新しい技術への対応も実施されています。国土交通省（当時は、建設省）は、1995年の建設産業政策大綱の中で、その基本目標のひとつとして技能の高度化・複合化に対応した専門工事業（サブコン）の建築技能者を確保するために、基幹技能者の育成システムの整備を行っていくことを打ち出しました。これに基づき、登録基幹技能者の教育は、国土交通省の指導のもとで（一財）建設業振興基金が主管となり、各専門工事業において行われています。

建築技能者の教育に関しては、国土交通省の政策の中で取り上げられ、現在進行中ですが、建築技術者（ここでは、建築施

工管理技術者）の教育に関しては、伝統的に各総合工事業（ゼネコン）に委ねられており、その教育の方法と内容は様々です。近年、建設業界では、優秀な施工管理技術者の不足が問題視され、その育成の方法と内容が見直され始めています。例えば、（公社）日本建築士会連合会のもとに組織された中小ゼネコンのための建築施工系技術者育成コースWGでは、技術者育成のあるべき方法と内容の取り纏めを行っています。

建築技術者の教育においては、建築系学科のある教育機関にも建設業団体と連携した教育の協力依頼が増えはじめています。建築系学科のある教育機関は、設計教育ありきの旧カリキュラムを見直し、これまであまり目が向けられなかった、建築施工管理技術者や技能者を育成するための職業教育に注力することが重要です。

三原 斉（みはらひとし）図書情報センター長 建設学科 教授 一級建築士 一級建築施工管理技士 一級土木施工管理技士  
近畿大学理工学部建築学科卒業、工学院大学大学院工学研究科博士後期課程修了、博士（工学）、村本建設株式会社建築部工事事務所長 同 購買課長 同 建築工務課長を経て、2001年よりものづくり大学に着任、現在に至る。専門分野：建築生産、建築構法、建築施工管理技術者教育、建築技能者教育、など（連絡先 048-564-3852）

平成25年



# 暑中お見舞いの申し上げます

紙上名刺交換会 到着順掲載

<p>代表取締役 会長</p> <p>株式会社 デ サン</p> <p>後池 博 池</p>	<p>頭 取</p> <p>株式会社 武蔵野銀行</p> <p>加藤 喜久雄</p>	<p>社 長</p> <p>株式会社 埼玉りそな銀行</p> <p>上條 正仁</p>	<p>取締役 会長</p> <p>日本信号株式会社</p> <p>西村 和義</p>	<p>代表取締役 会長</p> <p>武州ガス株式会社</p> <p>原 宏</p>
<p>代表取締役 社長</p> <p>牛山電工株式会社</p> <p>吉田 弘</p>	<p>代表取締役 会長</p> <p>日本伸管株式会社</p> <p>細 沼 哲夫</p>	<p>代表取締役 会長</p> <p>株式会社ピックスコーポレーション</p> <p>荻野 芳朗</p>	<p>代表 取締役表</p> <p>吉野電化工業株式会社</p> <p>吉野 寛治</p>	<p>代表取締役 社長</p> <p>株式会社サイニチホールディングス</p> <p>橋本 宏太郎</p>
<p>代表 取締役表</p> <p>大野建設株式会社</p> <p>大野 年司</p>	<p>代表 取締役表</p> <p>株式会社愛工舎製作所</p> <p>牛窪 啓詞</p>	<p>代表取締役 社長</p> <p>埼玉機器株式会社</p> <p>西海 栄一</p>	<p>代表取締役 社長</p> <p>株式会社 丸 善</p> <p>原 啓康</p>	<p>代表取締役 社長</p> <p>埼玉トヨペット株式会社</p> <p>平沼 一幸</p>



紙上名刺交換会 到着順掲載

代表取締役  
三原 宏 治  
日本自動車管理株式会社

代表取締役  
松本伸一郎  
株式会社 松本商会

代表取締役  
齊之平伸一  
三州製菓株式会社

代表取締役  
玄間 敏  
日本地工株式会社

代表取締役  
川本武彦  
株式会社サイサン

代表取締役  
高橋 扶明  
株式会社鈴木鶏卵GPセンター

代表取締役  
塩浦綾子  
関東自動車株式会社

代表取締役  
川 雅人  
新電元工業株式会社

理事長  
沼尾 幸一  
埼玉県中古自動車販売商工組合

代表取締役  
大野 洋子  
株式会社ゼネラルサービス

社一般  
法人  
埼玉県経営者協会  
専務理事 根岸 茂文  
職員 一同

代表取締役  
望月 諭  
望月印刷株式会社

代表取締役  
亀井寿之  
亀井産業株式会社

代表取締役  
高橋洋三  
武州産業株式会社

取締役  
原 宏  
坂戸ガス株式会社

# 平成二五年度 インターンシップ・ガイダンス・情報交換会を開催

本会が実施団体として推進している「埼玉県大学生インターンシップ推進事業」のガイダンスと情報交換会を五月二十八日(火)午後、さいたま市の聖学院大学・エルピス館にて開催した。当日は、受入側の企業・団体は二四先・二八名が参加、県内及び首都圏の大学関係者は三八大学・五〇名、この事業を所管する県産業労働部産業人材育成課、事務局の本会も含め約九十名が参加した。

「聖学院大学のインターンシップへの取り組みについて」と題して、松村正聖学院大学キャリアサポート部G P室長代行係長が聖学院大学のインターンシップの状況について説明した。

引き続き、宮田信久本会インターンシップ事務局統括が、「平成二五年度大学生インターンシップ推進事業について」と題して、作年度の実績と今年度の専用ホームページリニューアル内容などを説明した。

続いて、渡辺博子城西大学現代政策学部准教授が「城西大学におけるキャリア教育の実態と今後の課題」と題して講演。城西大学におけるキャリア教育の実情、特に現代政策学部のキャリア教育につ

いて説明し、プログラムは、①インターンシップ、②国際インターンシップ、③キャリア形成研修、④キャリアデザイン基礎、⑤就職活動支援、⑥女子学生支援、⑦資格取得促進などで、その中でも、インターンシップ研修の実施とその成果については、概要、実施内容、学生の成果、七年間の軌跡などについて説明された。最後にキャリア教育に関する今後の課題については、「プログラムの体験を成果にかえる道筋づくりや、学内態勢の整備も含めたキャリア教育プログラムのさらなる整備が必要。また、地域における独自性と関係性強化も視野に入れた関係機関との継続的関係性の構築が重要」とまとめた。

その後、第二部として約一時間 にわたり情報交換会を開催した。この会は、単なる名刺交換会ではなく、受入先側と大学側がマッチング率の向上や、より質の高いインターンシップの実現に向けて今年度の状況や今後の見通し、それぞれの留意事項や要望事項などを忌憚なく話し合うことが目的で、会場では積極的にかつ熱心に情報交換する姿が見てとられた。



勝村直久埼玉県産業労働部産業人材育成課長



鈴木隆聖学院大学キャリアサポート部長



渡辺博子城西大学現代政策学部准教授

情報交換終了後は、キャンパス見学として、聖学院大学の約一、〇〇〇名収容可能なチャペルや図書館など、普段はなかなか見ることのできない施設を見学させていただいた。

なお、この事業は、七月中旬から九月初旬にかけての夏季インターンシップ実習が中心となるが、夏休み後半のインターンシップ受入にはまだ間に合いますので、インターンシップ受入先登録へのご協力をお願いいたします。詳しい事業内容や実施方法などは専用ホームページをご覧ください。「大学生インターンシップ推進事業」で検索するか、または、<http://www.saitama-internship.jp>を直接入力してください。

とができない施設を見学させていただいた。

とができない施設を見学させていただいた。

とができない施設を見学させていただいた。

とができない施設を見学させていただいた。

## 大学生インターンシップ 推進事業ガイダンス・情報交換会 参加大学、受入先 (五十音順)

- ◇大学◇  
足利工業大学、跡見学園女子大学、  
神奈川工科大学、川村学園女子大学、  
杏林大学、群馬大学、埼玉学  
園大学、埼玉県立大学、埼玉工業  
大学、十文字学園女子大学、淑徳  
大学、城西大学、尚美学園大学、  
昭和女子大学、職業能力開発総合  
大学校、女子栄養大学、白百合女  
子大学、成蹊大学、成城大学、聖  
徳大学、大東文化大学、東京家政  
学院大学、東京経済大学、東京工  
科大学、東京国際大学、東洋学園

- ◇受入先◇  
アズ企画設計、伊田テクノス、ウ  
イズネット、白田ファインモータ  
ースクール、ウム・ヴェルト、関  
東食糧、関東図書、五大工業、サ  
イサン、JCN関東、ジョブサポ  
ート、神陽金属工業、スーパパー  
ック、セントラル自動車技研、デ  
サイト、東彩ガス、初雁興業、隼  
人会まきば園、ホックイェムアイ  
シー、むさし証券、武蔵野銀行、  
望月印刷、リングアンドリンク、  
埼玉県



情報交換会の様子

# 企業経営動向調査（13年4月実施）調査結果

## 調査概要

○調査対象	600社	○資本金別	
有効回答数	176社	• 5000万円以下	72社
回収率	29.3%	• 5000万円超～1億円以下	51社
○業種内訳		• 1億円超～3億円以下	15社
• 内製造業	87社	• 3億円超	38社
• 内非製造業	89社		

## 企業経営動向調査結果

### I. 景況判断

1. 国内景気 DI （「上昇」－「下降」）		13年1月調査	13年4月調査	
最近	全社	-17	+28	<ul style="list-style-type: none"> <li>国内景気の最近のDIは、製造業は、57ポイント大幅改善の+29となり、非製造業も33ポイント改善の+27となり、景況感は大幅に改善している。</li> <li>先行きのDIは製造業が+46、非製造業は+55となり、さらに改善するとの見通しとなっている。</li> </ul>
	内製造業	-28	+29	
	内非製造業	-6	+27	
先行き （6カ月先）	全社	+35	+51	
	内製造業	+31	+46	
	内非製造業	+40	+55	

2. 業界の景気 DI （「上昇」－「下降」）		13年1月調査	13年4月調査	
最近	全社	-27	-4	<ul style="list-style-type: none"> <li>業界景気の最近のDIは、大幅な改善傾向ではあるが、依然DIはマイナスにとどまっている。</li> <li>先行きのDIは、前回調査比並びに今回調査（最近）比からも改善するなど、改善傾向が続く。</li> </ul>
	内製造業	-39	-7	
	内非製造業	-16	-1	
先行き （6カ月先）	全社	+7	+18	
	内製造業	+8	+22	
	内非製造業	+6	+15	

3. 自社の業況 DI （「上昇」－「下降」）		13年1月調査	13年4月調査	
最近	全社	-12	+2	<ul style="list-style-type: none"> <li>最近の自社の業況DIについては、製造業は前回調査から25ポイントの大幅改善、非製造業も改善し、全社のDIは+2とプラスに転じている。</li> <li>先行きについては、さらに改善するとの明るい見通しとなっている。</li> </ul>
	内製造業	-26	-1	
	内非製造業	+2	+6	
先行き （6カ月先）	全社	+16	+20	
	内製造業	+14	+21	
	内非製造業	+19	+19	

## II-1. 経営動向 (売上高)

1. 売上高 DI (対前四半期比)	実 績		見 通 し		
	12/10-12	13/1-3	13/4-6	13/7-9	
全 社	+8	(-3) +3	(+5) +3	+24	<ul style="list-style-type: none"> <li>13/1-3月期の売上高DIは、前期比で、製造業、非製造業ともに若干悪化する傾向がみられる。</li> <li>13/4-6月期の見通しについては、製造業9ポイント改善の+1、非製造業では、9ポイント悪化の+5と、製造業と非製造業の見通しに差異がでている。</li> <li>13/7-9月期は、製造業、非製造業とも大幅に改善するとの見通しとなっている。</li> </ul>
内 製 造 業	-5	(-18) -8	(+2) +1	+28	
内 非 製 造 業	+20	(+11) +14	(+8) +5	+21	

2. 経常利益 DI (対前四半期比)	実 績		見 通 し		
	12/10-12	13/1-3	13/4-6	13/7-9	
全 社	+3	(-4) +1	(-1) +1	+18	<ul style="list-style-type: none"> <li>13/1-3月期の経常利益DIは、前期比で製造業、非製造業とも小幅ながら悪化しているが、製造業では前回調査の見通比14ポイント改善している。</li> <li>13/4-6月期の見通しでは、製造業は+6とプラスに転じるものの、非製造業は-3とマイナスに転じる見通しとなっており、売上高と同様、製造業、非製造業の収益見通しに差異が出ている。</li> <li>13/7-9月期については製造業、非製造業ともに大幅な改善見通しとなっている。</li> </ul>
内 製 造 業	-6	(-23) -9	(-8) +6	+21	
内 非 製 造 業	+12	(+14) +10	(+6) -3	+15	

(注)13/1-3月期、13/4-6月期の上段の( )内の数値は13年1月調査時の見通し

## III. その他

1. 製品の在庫水準 DI (「過大」-「不足」)		13年1月調査	13年4月調査	
最 近	全 社	+15	+9	
	内 製 造 業	+18	+17	
	内 非 製 造 業	+12	±0	
先 行 き (6カ月先)	全 社	+5	±0	
	内 製 造 業	+9	±0	
	内 非 製 造 業	±0	±0	

2. 生産・営業用設備 DI (「過剰」-「不足」)		13年1月調査	13年4月調査	
最 近	全 社	+12	+5	
	内 製 造 業	+19	+12	
	内 非 製 造 業	+5	-2	
先 行 き (6カ月先)	全 社	+8	±0	
	内 製 造 業	+13	+3	
	内 非 製 造 業	+3	-4	



3. 雇用人員 DI （「過剰」－「不足」）		13年 1月調査	13年 4月調査	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 最近の雇用人員 DI は、製造業は引き続き過剰感が強いものの、非製造業は過剰感は解消されている。</li> <li>• 先行きについては、製造業は過剰感が大幅に弱まり、ほぼ適正水準に、非製造業は不足感がさらに強まる見通しとなっている。</li> </ul>
最 近	全 社	+ 1	+ 6	
	内 製 造 業	+17	+16	
	内非製造業	- 16	- 5	
先 行 き (6カ月先)	全 社	+ 1	-11	
	内 製 造 業	+23	+ 1	
	内非製造業	-21	-24	

4. 資金繰り DI （「楽」－「厳しい」）		13年 1月調査	13年 4月調査	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 最近の資金繰り DI は、製造業、非製造業とも DI はプラスでかつ改善傾向にある。</li> <li>• 先行きの DI では、製造業は+13、非製造業+6と、13/4月調査（最近）とほぼ横ばいで推移するとの見通しとなっている。</li> </ul>
最 近	全 社	+ 6	+12	
	内 製 造 業	+ 6	+16	
	内非製造業	+ 6	+ 8	
先 行 き (6カ月先)	全 社	+ 1	+ 9	
	内 製 造 業	- 3	+13	
	内非製造業	+ 6	+ 6	

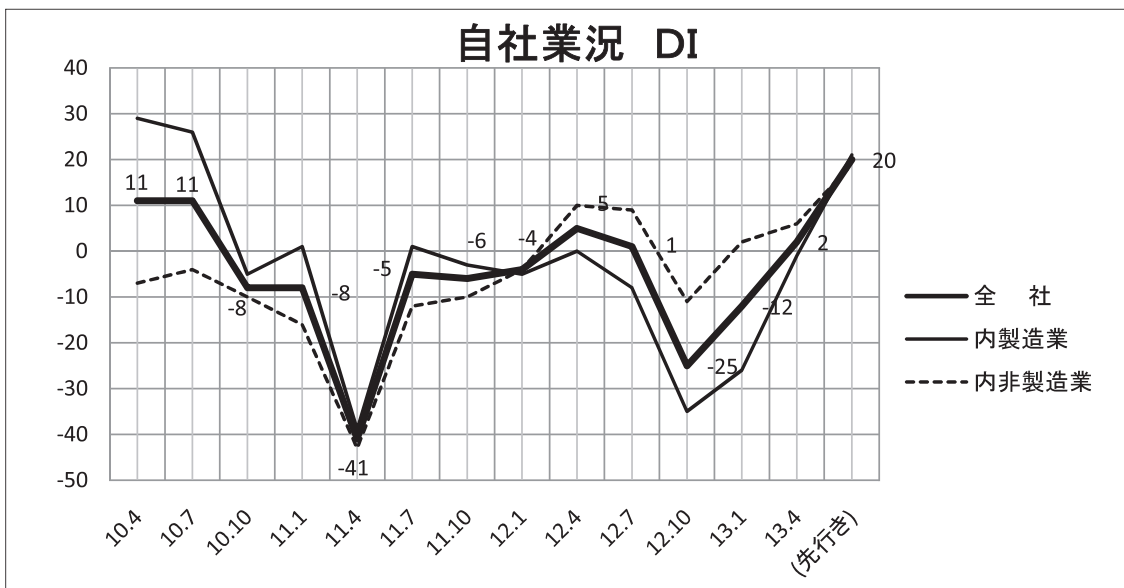
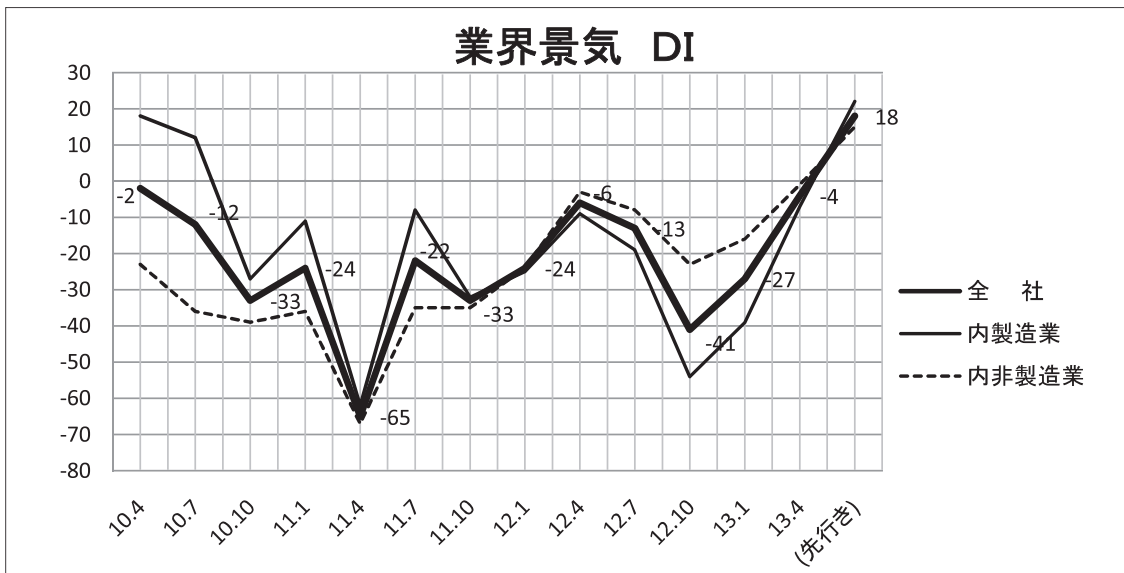
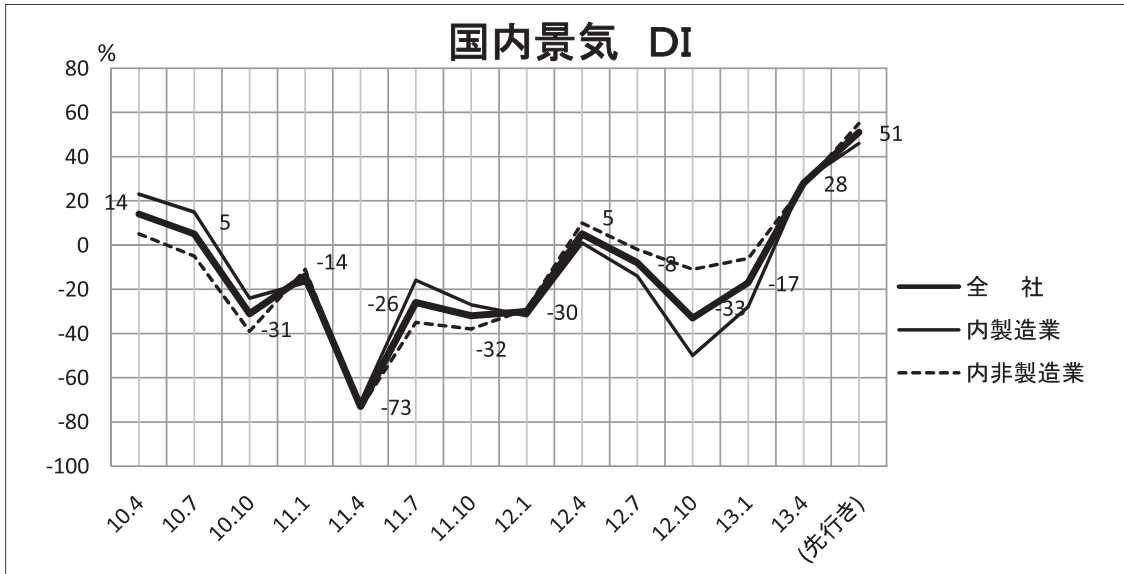
5. 販売価格 DI （「上昇」－「下落」）		13年 1月調査	13年 4月調査	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 最近の販売価格 DI については、製造業は-22と依然下落傾向とする企業が多く、非製造業でも-5と下落とみる企業は前回調査比減少傾向にあるものの DI は依然マイナスにとどまっている。</li> <li>• 先行きでは、13/4月調査（最近）比で製造業、非製造業ともに販売価格の下落傾向は改善しつつある。特に非製造業では+2と上昇に転じる企業の方が多くなっている。</li> </ul>
最 近	全 社	- 18	-13	
	内 製 造 業	-21	-22	
	内非製造業	- 15	- 5	
先 行 き	全 社	-22	- 6	
	内 製 造 業	-30	-15	
	内非製造業	- 15	+ 2	

6. 仕入価格 DI （「上昇」－「下落」）		13年 1月調査	13年 4月調査	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 最近の仕入価格 DI は、製造業、非製造業ともに10ポイント程度上昇しており、引き続き仕入価格は上昇傾向にある。</li> <li>• 先行きの DI では、製造業、非製造業とも13/4月調査（最近）比で大幅に上昇しており、仕入価格が上昇するとみる企業が多くなっている。</li> </ul>
最 近	全 社	+12	+22	
	内 製 造 業	+11	+23	
	内非製造業	+ 8	+21	
先 行 き	全 社	+10	+37	
	内 製 造 業	+11	+43	
	内非製造業	+ 8	+32	

# 企業経営動向調査 景況判断の推移

2010年4月～2013年4月および先行き

※値表示は全社のDI

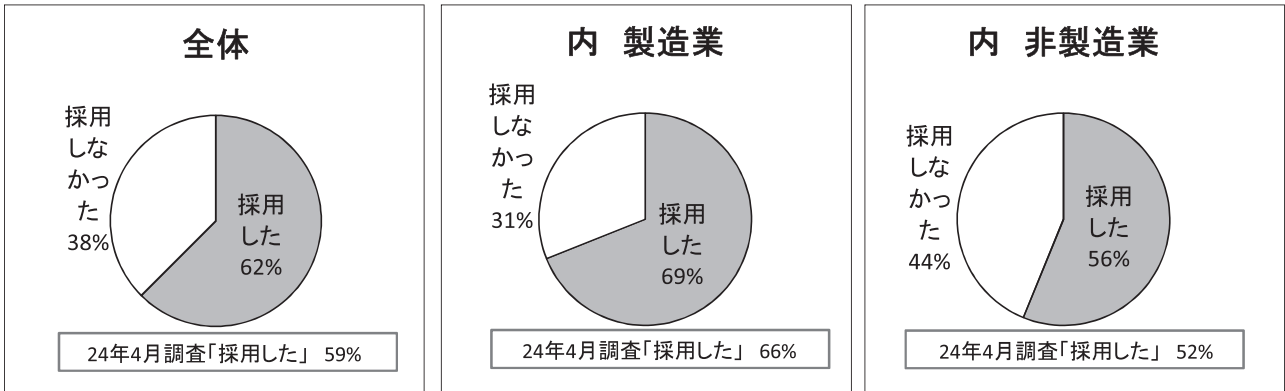


# 特別調査「新卒採用動向およびインターンシップ受入に関する調査」

## 1. 平成25年度（平成25年4月採用）の新卒者採用の有無及び平成26年度（平成26年度4月採用）計画について

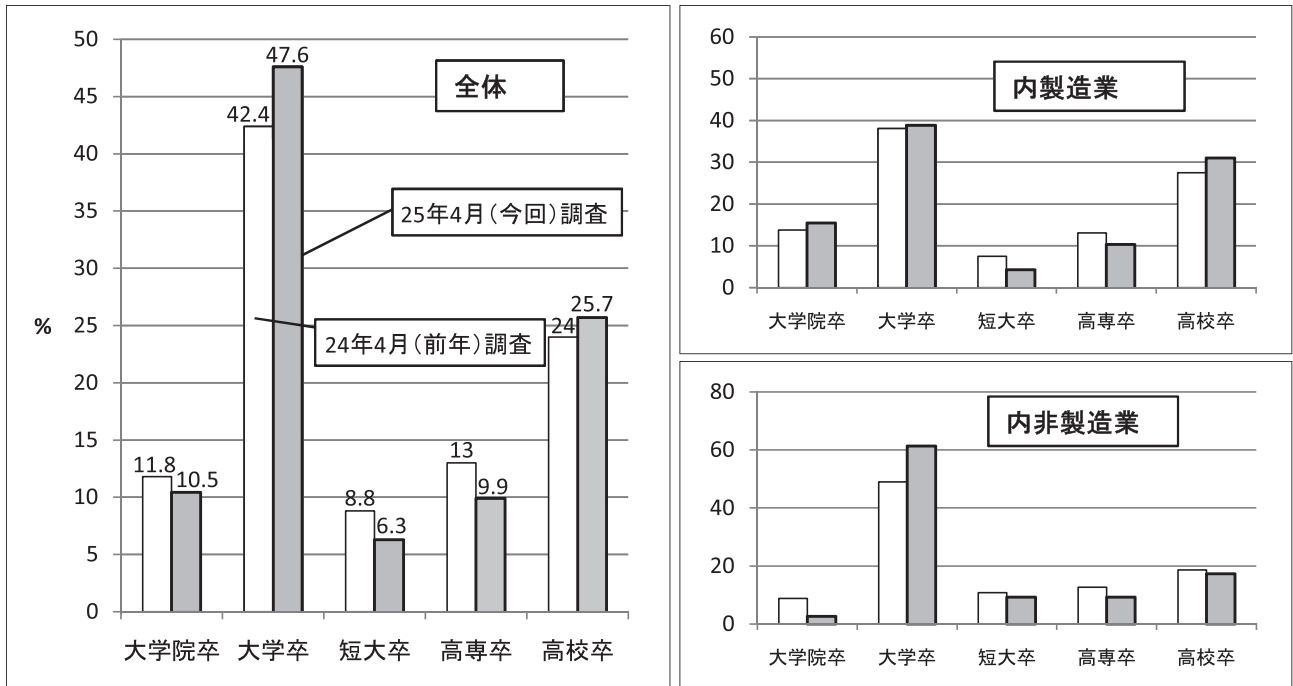
(1) 平成25年4月新卒採用を行いましたか。

回答数：全体176（内製造業87、内非製造業89）



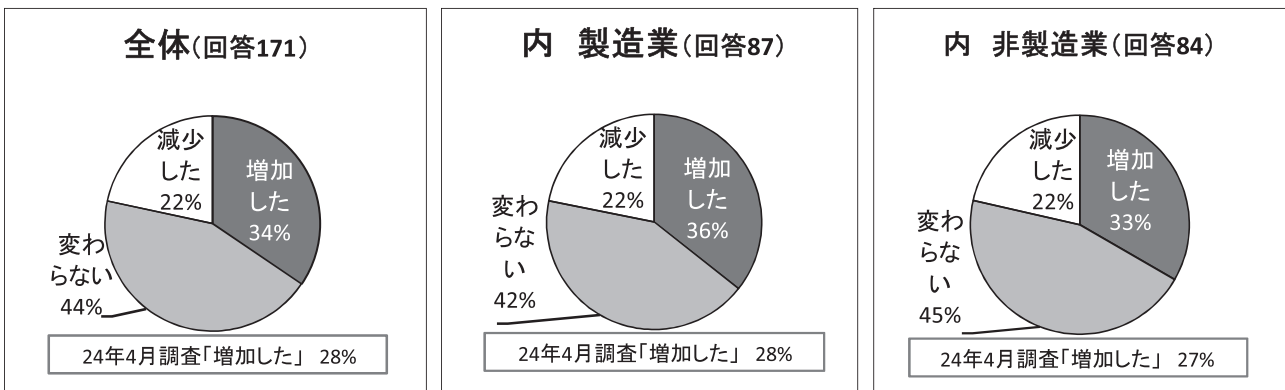
\*24年4月（前年）調査比「採用した」企業の割合が3～4ポイント増加している。

(2) (1)で採用したと回答した先に…採用した新卒の学歴は（複数回答可）。



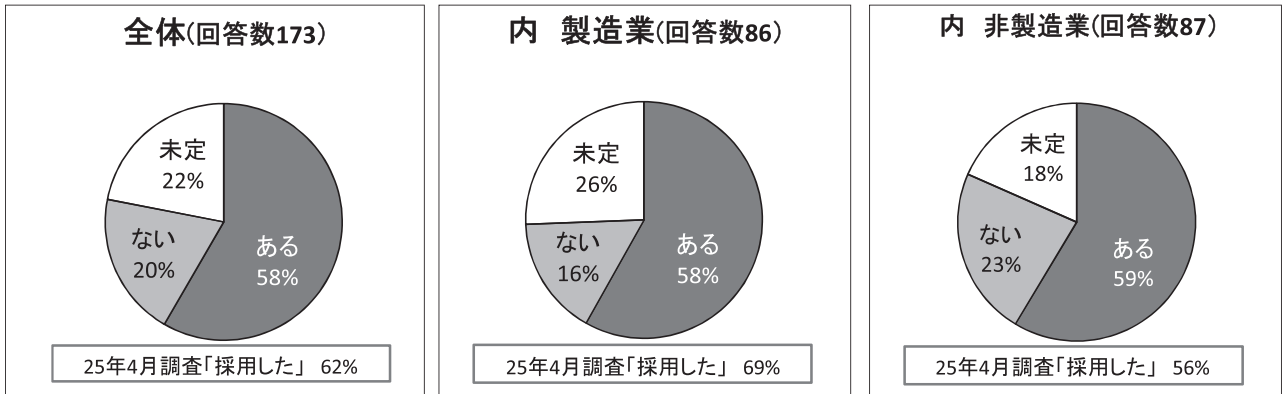
採用した新卒の学歴別割合は、全体では大卒と高卒は増加、大学院、短大、高専卒は減少となっている。

(3) すべての回答先に…平成25年4月採用実績は平成24年4月採用実績に比べてどうなりましたか。



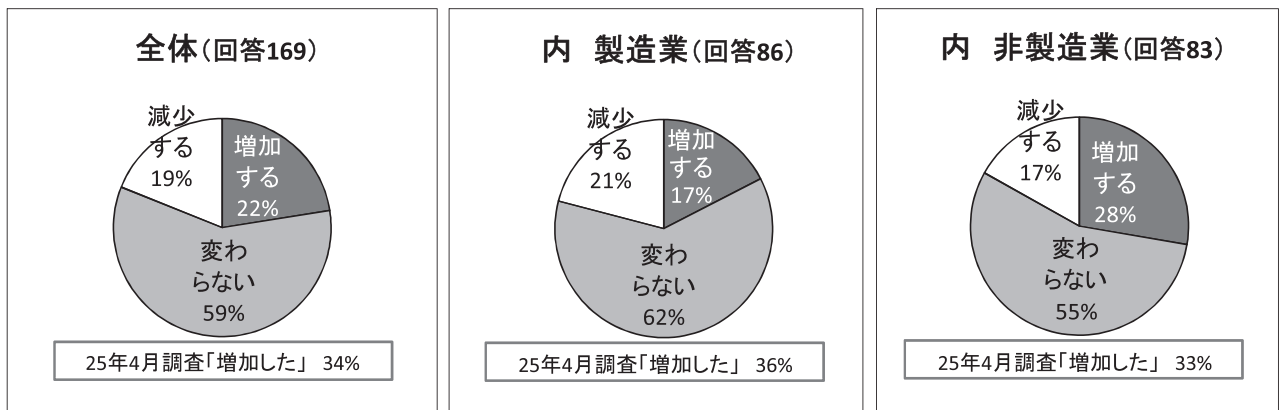
\*24年4月（前年）調査よりも「増加した」と回答する企業の率が6～8ポイント増えている。

(4) すべての回答先に…平成26年4月の新卒採用予定はありますか。



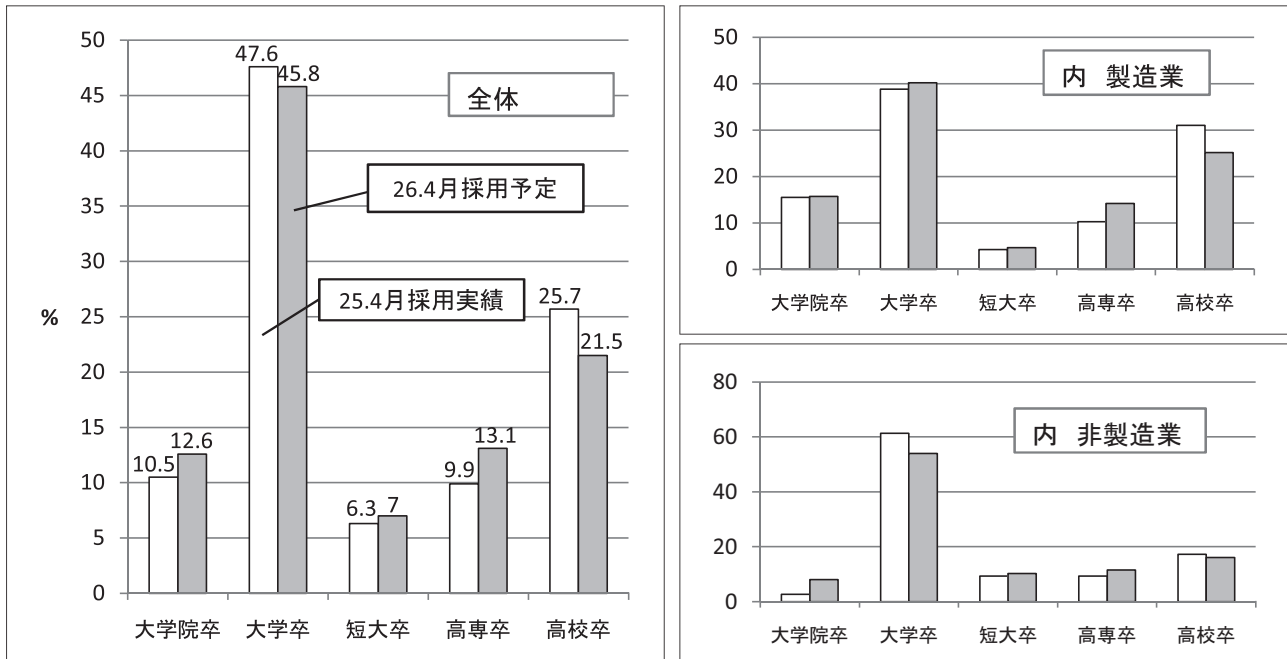
\*25年4月調査の「採用した」との比較で、製造業は11ポイント減少、非製造業は3ポイント増加している。

(5) すべての回答先に…平成26年4月の採用予定は平成25年度採用実績に比べどのようになりますか。



\*25年4月調査の採用実績が「増加した」との比較で、製造業では19ポイント減少、非製造業は5ポイントの減少となっている。

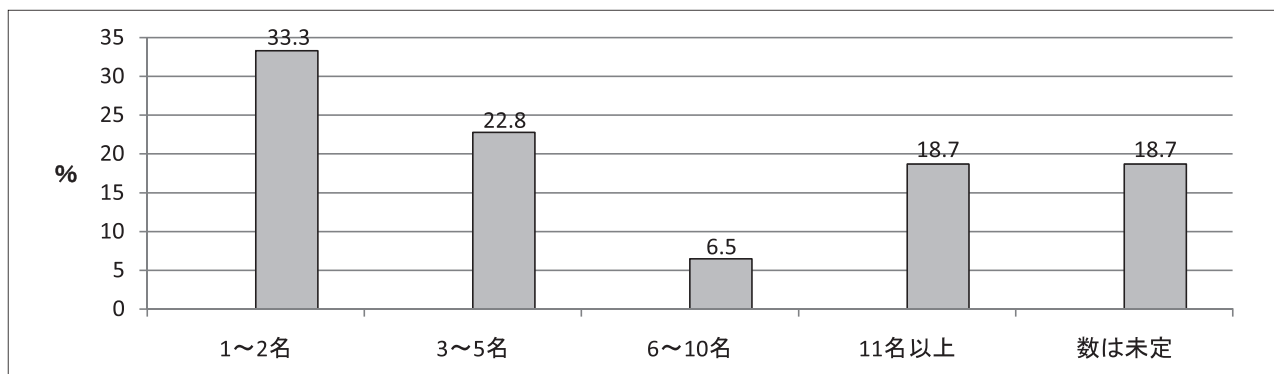
(6) (4)の質問で「ある」と回答した先に…平成26年4月新卒採用予定の学歴は（複数回答可）。



平成26年4月の新卒採用予定は、全体では25年4月の採用実績と比較し、全体としては大卒・高卒が減少傾向、大学院卒、短大卒、高専卒が若干の増加となっている。

(7) 平成26年度4月の新卒採用は何名程度を予定(計画)していますか。

回答数：全体123先



## 2. 大学生インターンシップの受入について

(1) 大学生インターンシップを実施していますか。(受入していますか)

回答項目/業種		全体		内 製造業		内 非製造業	
回答数	今回(25年4月)調査	173		87		86	
	前回(24年4月)調査	206		105		101	
1. 実施している	今回	58	33.5%	36	41.4%	22	25.6%
	前回	58	28.2%	35	32.7%	23	23.2%
2. 実施していない	今回	104	60.1%	45	51.7%	59	68.6%
	前回	125	60.7%	64	59.8%	61	61.6%
3. 受入は可能だが実績はない	今回	10	5.8%	5	5.7%	5	5.8%
	前回	20	9.7%	7	6.5%	13	13.1%
4. 受入は可能だが実施方法がわからない	今回	1	0.6%	1	1.1%	0	0.0%
	前回	3	1.5%	1	0.9%	2	2.0%

\*回答率で見ると、「実施している」との回答は前回調査より全体で5.3ポイント増加し、内製造業は8.7ポイント増加している。

(2) 大学生インターンシップの受入を今後、(今後も)行いますか。

回答項目/業種		全体		内 製造業		内 非製造業	
1. 行う	今回	53	30.6%	33	37.9%	20	23.3%
	前回	62	30.1%	38	36.2%	24	23.8%
2. 行わない	今回	44	25.4%	23	26.4%	21	24.4%
	前回	70	34.0%	34	32.4%	36	35.6%
3. 未定	今回	76	43.9%	31	35.6%	45	52.3%
	前回	74	35.9%	33	31.4%	41	40.6%

# 秩父鉄道(株) 大谷隆男社長が初優勝

## 第 二 回 西村会長杯争奪 会員親睦ゴルフ大会を開催

西村和義会長杯争奪の第二回目 月七日(金)、武蔵カントリークラブ  
となる会員親睦ゴルフ大会が、六 豊岡コースにおいて、七組二十七名

### 第 2 回西村会長杯 親睦ゴルフ大会主要結果

〈平成25年 6 月 7 日(金) 武蔵カントリークラブ 豊岡コース〉

#### 1. 上位入賞者 (ダブルベリア/敬称略)

順位	氏名	会社名	役職名	アウト	イン	グロス	HC	ネット
優勝	大谷 隆男	秩父鉄道(株)	社長	45	44	89	19.2	69.8
準優勝	吉田 守	(株)シリコニット	社長	45	43	88	16.8	71.2
3 位	桑原 克己	サイエンス(株)	社長	44	45	89	15.6	73.4
4 位	小倉 幹雄	(株)サンテック	顧問	50	51	101	26.4	74.6
5 位	佐藤 誠	(株)あすかビルサービス	社長	49	46	95	20.4	74.6
バスグロ	吉田 守	(株)シリコニット	社長	45	43	88	—	—

#### 2. シニアの部

優勝	吉田 守	(株)シリコニット	社長	45	43	88	16.8	71.2
準優勝	桑原 克己	サイエンス(株)	社長	44	45	89	15.6	73.4

#### 3. グランドシニア

優勝	石川 卓	東京ビルサービス(株)	社長	44	47	91	15.6	75.4
----	------	-------------	----	----	----	----	------	------

が参加して開催された。朝のミーティングでは、細沼哲夫競技委員長(日本伸管代表取締役会長)の挨拶に続き、藤池誠治競技副委員長(デサン代表取締役会長)よりルール説明や初参加の方の紹介などが行われた。

梅雨入り後で天候が心配されたが、当日は、曇り空で、微風のコンドেশションで、緑の美しい名門コースで、アウトとインに分かれての同時スタートにより日頃の腕前を競った。

ダブルベリア方式によりスコアを集計し、第二回西村会長杯はアウト四五、イン四四、グロス八九、ハンデ一九・二、ネット六九・八で大谷隆男氏(秩父鉄道(株)代表取締役社長)が初優勝を飾り、シニア優勝は吉田守氏(株)シリコニット代表取締役)がベストグロスとなる、アウト四五、イン四三のグロス八八、ネット七一・二のスコアで獲得、グランドシニア優勝は石川卓氏(東京ビルサービス(株)代表取締役)が獲得した。

表彰式は、細沼競技委員長の開会挨拶の後、総合優勝、シニア優勝、グランドシニア優勝、順位賞などがそれぞれの受賞者に授与された。

その後、懇親会では、各賞を獲得された方々や今回初参加四名の方のスピーチなどで盛り上がり、

情報交換ならびに懇親が図られた。なお、今回は、十一月二日(金)、今大会と同じ武蔵カントリークラブ

プ・豊岡コースで開催を予定している。



ブレリー前の集合写真  
武蔵カントリークラブ豊岡コース



総合優勝 大谷隆男秩父鉄道(株)代表取締役社長



シニア優勝、バスグロ賞  
吉田守(株)シリコニット代表取締役



パーティーの様子

## 定年再雇用者の賃金について

弁護士 安西 愈

定年後の再雇用者の賃金については、企業の賃金原資には限りがあり、若年者雇用や定年前在職者の賃金の確保が第一で、これらの社員の生活の保護が最優先することや、定年後の再雇用は、その後の年金等へのつなぎ雇用で、社会政策的雇用とも考えられており、このため、一般に定年時よりも大幅に賃金を引き下げる取扱いがなされている。そこで、定年後の再雇用にあたっては、定年前と同じ仕事の継続であっても、定年後の「嘱託・契約社員」といった一年契約の有期社員として雇用するところが多く、この場合には、従前と仕事が変わらなくても賃金等の処遇を変えても雇用形態の違いによるので法的には問題とならない。

## インポート労働法

労働政策研究・研修機構の調査によると、定年後継続雇用制度によってフルタイム勤務の従業員として雇用している企業であっても、賃金は定年到達時の五〇％未満とするところが七・二％、五〇～六〇％未満が一四・〇％、六〇～七〇％未満が二五・三％といったように、一般には低く設定されている。

このように定年後に再雇用された労働者の労働条件が定年前の他の無期契約労働者の労働条件と相違することについては、「特段の事情がない限り不合理と認められないと解される。」(改正労契法施行通達)とされている。

しかし、高年齢者の賃金が著しく低いときは、高年齢者継続雇用の趣旨に反し、公序良俗違反とされないのかという疑念がある。

この点については、同じ運転手でありながら、定年後再雇用者のシニア社員制度による「時間給一〇〇〇円、賞与なし」という労働条件で、定年時の五四・六％と試算されるケースについて、労契法三条所定の均等待遇原則の観点より、公序良俗に違反するとして争われた事件について、判例は、「正社員とシニア社員(嘱託)との間には、本来的には、同一労働同一賃金の原則や均等待遇の原則の適用は予定されていないところであり」、「同原則が労働関係を規律する一般的な法規範として存在していることを認めることはできないし、「公の秩序」としてこの原則が存在しているとも認めることも困難である。」とし、「また、均等待遇原則の観点からも、上記五四・六％といった数字は、我が国労働市場の現況や、定年退職後の雇用状況に鑑みると、これが高年齢者雇用安定法の趣旨を潜脱するほどの低額といえず、公序良俗に違反するとも認めるところとは困難である。」(平成二二・九・一四大阪高裁判決)とされている。

厚労省のQ&Aでも、「高年齢者雇用安定法が求めているのは、継続雇用制度の導入であって、事業主に定年退職者の希望に合致した労働条件での雇用を義務付けるものではなく、事業主の合理的な裁量の範囲の条件を提示していれば、労働者と事業主との間で労働条件等についての合意が得られず、結果的に労働者が継続雇用されることを拒否したとしても、高年齢者雇用安定法違反となるものではありません。」としている。



## 第194回

▼今日は「夏至」である。一年中で一番昼が長く、夜が短い日で、昼夜の差は四時間三〇分ともいわれている。そして、この夏至が過ぎると本格的な夏が始まるとも。

もう既に夏に突入しているじゃないかと文句も言いたくなる天候だ。

台風四号と温帯低気圧が合体して豪雨を全国に撒き散らしているが、東京の水がめとなる利根川上水のダムには雨が降らない！以前、こんな話を聞いた事がある。

「天候を制する者は、世界を制することが出来る」と。科学がどのように進歩しても、所詮「人間は自然には勝てそうもない！」人間は原点に戻り、警沢な生活に別れを告げて、明治・大正時代の生活にも言いたいが、今日の生活に慣れ親しんでしまつては後戻りは出来ないだろう。

自然環境の変異がいくら食生活などにも悪影響を及ぼし、想定外な疾病などをもたらしかねない、と。(著名なドクター談より)

## こんな時にこんな事を!

エッセイスト 和宮英之

▼間もなく6月も終わろうとしているが、今年の4月入社の新入社員も試用期間の3か月も過ぎ、問題が無ければ本採用となる。最近、企業からの相談内容の多くは「精神面」での事が！

城山三郎著に「打たれ強く生きる」という書籍があったと記憶しているが、最近には「打たれ弱く生きる」日本人が実に多くなつたような気がしてならないと思うのは小生だけであろうか？

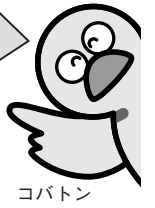
今の時代は叱られた経験の少なさを感じている。家庭においても、地域においても、学校においても。嫉の原点は家庭にあると、何時も訴えている小生にとっては、親も善悪・良否の判断が出来なくなつていとも考えている。

怖いものに「地震・雷・火事・親爺」と昔はいわれたが、親爺は子供の友達の時代だ。物質面で豊かな時代に生まれ育ち、叱られ怒られた経験もなく、自分の主義主張をし、義務も果たさない、当然ガマンも出来ないし、忍耐や苦勞なども考えようとしめない！

自分にとって都合の悪い事はパワハラやセクハラなどの言葉にすぐに置き換えてしまう。

だから、「打たれ弱く」なつても仕方ないかもしれない。

企業の総務・人事担当者にとっては、苦痛時代が到来したともいえるが、その前に自分自身が「先ず、打たれ強い人間」に成長して欲しいと念じてやまない。



# 埼玉県からののお知らせ

## 夏の節電に御協力を

今年の夏の東京電力管内の電力需給については、余裕があるとの見通しが政府から出されています。

しかし、この電力需給見通しは企業や家庭の定着した節電を織り込んだものです。また、火力発電所の不測の停止などにより、電力需給が逼迫する可能性もあります。

皆様には、引き続き無理のない範囲で着実に節電を実施していただくよう、御協力を願います。

節電をお願いするのは、9月30日(月)までの平日9時～20時です。

具体的な節電メニュー等については、政府の節電ポータルサイトをご覧ください。  
<http://setuden.go.jp/>

お問い合わせ先  
県産業労働政策課

(048-830-3723)

## 「埼玉版ウーマノミクスプロジェクト」事業の御案内

県では、女性の力で県内経済を元気にする「埼玉版ウーマノミクスプロジェクト」を進めています。ここでは、二つの事業を御案内します。

### 1 多様な働き方実践企業

県では、仕事と子育て等を両立できる職場環境づくりを進めるため、短時間勤務制度など多様な働き方を実践する企業・事業所を認定しており、申請を受け付けています。

#### (認定基準)

- ①女性が多様な働き方を選べる
- ②出産した女性が働き続けている
- ③女性管理職が活躍している
- ④男性社員の子育て支援等を積極的にしている など

#### (特典例)

認定証等の交付、県制度融資「産業創造資金」の利用(別途審査あり)、県が大学生や求職者に働きやすい会社として紹介、県建設工事の入札参加資格申請時の加点などが受けられます。



### 2 企業内保育所補助金

県では、企業内保育所の設置・運営に対する補助制度を設けて支援を行っています。

#### (1) 施設整備費補助金

- ①新たに定員5名以上の企業内保育所を整備する場合
- ②既存の企業内保育所が5名以上の定員増を伴う拡充整備をする場合
- ③既存の企業内保育所が、5名以上の定員増に伴い、備品を整備する場合

#### ・対象

補助額 1か所あたり上限500万円

### 共同利用型企業内保育所の運営費補助金

①新たに定員5名以上の共同利用型企業内保育所を開設した場合の運営費

②既存の企業内保育所から転換して5名以上の定員増を行う共同利用型企業内保育所を開設した場合の運営費

補助期間 開設した日の翌月から3年間

補助額 1年目上限300万円、2年目上限225万円、3年目上限150万円

お問い合わせ先  
県ウーマノミクス課

(048-830-3963)

## 「埼玉ママスマイルウーマンフェスタを開催します！」

女性の笑顔や活躍を発信、

平成25年9月14日(土)と15日(日)にさいたまスーパーアリーナコミュニティアリーナで「埼玉ママスマイルウーマンフェスタ」を開催します。

女性向けの商品やサービスを取り揃えた女性消費者のためのイベントです。美容やグルメ、子育て用品などの商品・サービスを展示・即売します。無料のサンプル配布やプレゼントが当たる抽選会も行います。

会場内では、トークショーやワークショップ、ファッションショー、女性起業家によるワークショップなども開催します。ごなたでも無料で入場できますが、事前予約の必要なイベントもありますので、詳細はHPをご覧ください。多くの女性や御家族連れの御来場をお待ちしています。

お問い合わせ先  
<http://saitama-womenomics.info/festa>

県産業支援課  
(048-830-3908)

## 「ハローワーク浦和・就業支援サテライト」のサービスを大幅拡充！

平成25年5月27日、ハローワーク浦和・就業支援サテライトに若者と女性の相談窓口を開設。全ての世代の利用者へ、きめ細かな支援を行います。

### 1 新設コーナー

#### (1) 若者コーナー(予約制)

カウンセリングやセミナーなどきめ細かな就職支援で、若者の就活を力強くサポートします。

※さいたま新都心にあった「ヤングキャリアセンター埼玉」は、こちらに移転しました。

#### (2) 女性コーナー(予約制)

子育てとの両立などの不安をカウンセリングやセミナーで軽減し、就職活動を支援します。

※「県女性キャリアセンター」は、さいたま新都心の現在地で引き続き業務を行っています。

### (3) 新卒コーナー

大学などの学生、卒業後3年以内の既卒者の就職を支援します。

### 2 既設コーナー

職業紹介を行うハローワークコーナー、キッズスペースのあるマザーズコーナー

コーナー、40歳以上の方向けの中高年コーナー(予約制)、求職中の生活や住まいの相談に応じる生活・住宅総合相談コーナー(利用は午後5時まで、受付は30分前)、介護など福祉の仕事希望する人のための福祉人材就職コーナー(利用は午後5時まで)があります。

#### [利用時間]

月・金曜日 午前10時～午後7時

土曜日 午前10時～午後5時

※土曜日は若者コーナー・女性コーナー・中高年コーナーのみ(全て予約制)

#### お問い合わせ先

ハローワーク浦和・就業支援サテライト

(048-826-5601(代表))

## 「ものづくり基礎講座」の受講者を募集します！

県では、県内中小企業の若手技術者を対象に、ものづくり大学の科目履修制度を活用して、約2か月間(週1回、8日間)でものづくりの基礎を学ぶ「ものづくり基礎講座」を開催します。

### 1 募集講座 型枠施工基礎、溶接基礎、建設製図等の6講座

2 対象者 県内中小企業の若手技術者(年齢は30歳代まで)

3 研修形態 企業からの派遣研修として実施

4 募集締め切り 8月16日(金)まで(必着)

5 定員 計20名(先着順。定員になり次第、締め切りです。)

6 受講料 無料(講座によっては、ヘルメットと安全靴を各自でご用意いただきます。)

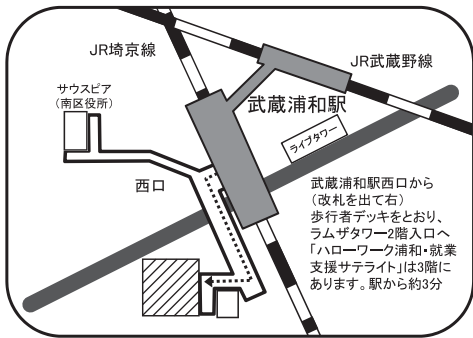
詳細は、次のサイトをご覧ください。

<http://www.pref.saitama.lg.jp/page/monozukuri-kisokouza-bosyu.html>

#### お問い合わせ先

県産業人材育成課

(048-830-4607(直通))





# 採用に関する

## 教育長からの要請

五月二日、埼玉県教育委員会  
教育長より以下の「高校生の就職  
支援に関する要請」を受けました。  
会員各位のご協力をお願いいたし  
ます。

### 高校生の就職支援に 関する要請

貴職におかれましては、日頃よ  
り、本県の教育行政の推進に当た  
り、格別の御理解、御協力を賜り  
厚くお礼申し上げます。

さて、昨年度も日本の経済情勢・  
雇用情勢は依然として大変困難な  
状況にありました。

このような厳しい状況の中であ  
りました。平成二十五年三月末  
の県内公立高校生の就職内定率は  
九四・九%と、昨年同期と比較し  
て二・二ポイント上回ることで  
きました。

これも、ひとえに、貴団体並び  
に貴団体所属の事業所の御協力の  
賜と深く感謝申し上げます。

今年度は景気回復の期待感が高

まりつつありますが、高校生の就  
職状況は決して楽観視できない状  
態であると考えます。県教育委員  
会といたしましても、就職支援に  
全力で取り組むとともに、明日の  
埼玉の産業界を担う人材の育成に  
努めてまいります。

貴団体所属の事業所におかれま  
しては、大変な経営努力をされて  
いることと存じますが、新規高校  
卒業予定者の採用につきまして、  
引き続き御協力くださいますよう、  
改めてお願いいたします。

貴職におかれましては、今回の  
要請の趣旨を御理解いただき、貴  
団体所属の事業所への御協力につ  
きまして、特段の御配慮をいただ  
きたくお願い申し上げます。

平成二十五年五月二十二日

埼玉県教育委員会

教育長 前島 富雄

一般社団法人埼玉県経営者協会

会長 西村 和義 様

# 日本経団連 提言・提案など

アベノミクスの成果と今後  
の方針／甘利経済再生担当  
相から聞く  
— 日本再興に向け成長戦略  
の実行を目指す

幹事会で講演する甘利経済再生  
担当相経団連は、6月18日に東京・  
大手町の経団連会館で開催した幹  
事会において、甘利明経済再生担  
当大臣・内閣府特命担当大臣（経  
済財政政策）から、安倍政権の経  
済政策について説明を聞いた。概  
要は次のとおり。

### ■アベノミクスのこれまでの成果

アベノミクスは、第一の矢であ  
る大胆な金融政策、第二の矢であ  
る機動的な財政出動、そして第三  
の矢である新たな成長戦略という  
三つの政策から成る。すでに、第  
一の矢と第二の矢は、日銀の異次  
元緩和と昨年度の大型補正予算と  
いうかたちですでに放たれており、  
第三の矢も6月14日に「日本再興  
戦略」を閣議決定した。これによ  
り、「失われた20年」と決別し、「再  
生の10年」に向けた取り組みを強  
化する。  
実体経済を見ると、2013年  
1～3月期の実質GDP成長率は  
プラス4・1%となり、民主党政

権下の12年7～9月期のマイナス  
3・6%からV字回復している。

ただし、消費と輸出は回復してい  
るものの、企業の設備投資はいま  
だプラスの領域にない。秋の臨時  
国会では、設備投資を促進する政  
策を打っていく。

### ■日本再興戦略

“JAPAN IS BACK”を副題と  
する「日本再興戦略」は、三つの  
手法から成る。

第一は「民間活力の爆発」であ  
る。首都高の補修に向けたPPP  
／PFIの活用や、特区における  
公立学校運営の民間委託等、かつ  
て想定しなかったところまで民間  
活力を引き出す。

第二は「全員参加の総力戦」で  
ある。今後5年間で40万人分の保  
育の受け皿を新たに確保し、待機  
児童の解消を図ることで女性の社  
会参加を推進するほか、若者等に  
についても就労を促進する取り組み  
を進める。

第三は「内外の新たなフロンテ  
ィアの創造」である。国内では、  
医療分野における研究開発の司令  
塔となる日本版NIH（国立衛生  
研究所）を創設し、再生医療等の  
先端医療の推進を図る。海外につ  
いては、貿易総額に占めるFTA

比率を、現状の19%から18年まで  
に70%へと引き上げるとともに、  
インフラ輸出等で総理を含めたト  
ップセーラーを展開する。

また、日本再興戦略の実行に向  
けては、三つのプランが立てられ  
ている。このうち二つは、国内と  
海外のフロンティアを獲得するた  
めの実行計画であり、残りの一つ  
は産業基盤の強化である。企業の  
新陳代謝を促すべく、老朽設備の  
一新、不採算部門の切り出し、カ  
ーブアウト等を後押しするための  
税制措置や金融支援等を講じる。

### ■骨太方針で示した財政健全化の 道筋

さらに日本再興戦略と同時に、  
骨太方針も閣議決定した。骨太方  
針では経済再生と財政健全化の好  
循環の形成を目指しており、国・  
地方の基礎的財政収支を、15年度  
までにGDP比での赤字を10年度  
の水準から半減、20年度までに黒  
字化、その後の債務残高の対GDP  
比の安定的な引き下げを目指す、  
との目標を掲げた。

2年後の赤字半減について、昨  
年度のような大型補正予算を組ま  
なければ、社会保障関係費の自然  
増はあるものの、必要な収支改善  
額のうち、消費税率の引き上げで  
かなりの収支改善ができ、成長の  
実現や歳出削減に努めることで可  
能と見ている。

# 『法人企業統計調査』へのご協力のお願い(財務省)

<http://www.mof.go.jp/pri/reference/ssc/index.htm>

財務省では、昭和23年より、標記調査を実施して参りましたが、昨今では、調査票のご提出をいただけない法人が散見される状況が見られます。

本調査結果が、内閣府が公表する「四半期別 GDP 速報（2次速報値）」や「月例経済報告」などに活用される非常に重要な統計と位置付けられているなか、得られる統計結果の精度維持・向上が課題となってきました。



## ●調査の目的等

本調査は、法人企業の財務状況を包括的に把握する唯一の統計で、営利法人等を対象としてその資産、負債及び純資産の状況並びに損益等の計数について調査しています。

また、特に重要な統計として、統計法（平成19年法律第53号）に基づく『基幹統計』に指定されており、その重要性、統計の精度確保の観点から、調査対象となった法人には、法律上の提出義務（統計法第13条）が課されています。

## ●調査の実施内容



○原則、2年間のお願いです。

### ■四半期調査…2年間で計8回（7月、10月、1月、4月に依頼）

・四半期毎の仮決算数値を、「月次試算表など」から転記していただく調査です。

### ■年次調査…2年間で計2回（6月又は12月に依頼）

・事業年度決算数値を、「決算書」から転記していただく調査です。

※A4版の茶封筒で対象法人へ送付させていただきます。

	調査対象法人の選定方法	対象法人数
四半期別調査	資本金1千万円以上の法人を対象に無作為抽出	全国で約3万7千社
年次別調査	資本金規模に係わらず全法人を対象に無作為抽出	全国で約4万8千社

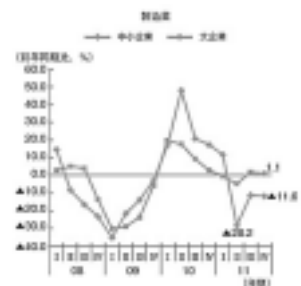
(注) 資本金5億以上（金融・保険業は資本金1億以上）の法人は、全数調査の為、毎回調査対象。

## ●調査結果の活用状況

経済・財政政策立案の資料とするほか、国民所得の推計、資金循環の把握など国民経済計算に広く活用されています。

〈活用例〉\*内閣府 「四半期別 GDP 速報（2次速報値）」  
「月例経済報告」「国民経済計算年報」

\*中小企業庁 「中小企業白書」



※各種政策の判断・実行のためにも、本調査の趣旨と、正確な統計を作成することの必要性をご理解いただき、ご提出・ご協力を賜りますようお願いいたします。

【お問合せ先】財務省 関東財務局 総務部 経済調査課 (TEL048-600-1260)

# 事業だより

五月九日～七月二日

- ◆五・九 定時総会（パレスホテル大宮）
- ◆五・一五 第一回企業戦略研究会（ソニックシティ）
- ◆五・二二 第一回グローバル委員会（ソニックシティ）
- ◆五・二四 第一回CSR委員会（ソニックシティ）
- ◆五・二七 第二回トップセミナー（ソニックシティ）
- ◆五・三〇 第一回特別セミナー（ソニックシティ）
- ◆六・二 埼玉音協主催 鼓童公演（ソニックシティ大ホール）
- ◆六・三 第一回少子高齢化対策研究会（ソニックシティ）
- ◆六・四 第一回人事労務委員会（ソニックシティ）
- ◆六・七 第二回西村会長杯争奪戦会員親睦ゴルフ大会（武蔵カントリー倶楽部）
- ◆六・二二 第一回地域社会問題委員会（ソニックシティ）
- ◆六・二四 埼玉音協定時総会（弊会会議室）
- ◆七・二 第三回トップセミナー（ソニックシティ）
- ◆七・七 第四一回埼玉県実業団剣道大会（解脱練心館）
- ◆七・八 埼玉大学研究開発フォーラム（ソニックシティ）
- ◆七・一一 第二回グローバル委員会（さいたま商工会議所会館ホール）
- ◆七・一六 第二回特別セミナー（ソニックシティ）
- ◆七・一八 第二回人事労務委員会（ソニックシティ）
- ◆七・二三 第三回特別セミナー（ソニックシティ）
- ◆七・二九 第四回特別セミナー（ソニックシティ）
- ◆七・三一 第三回小笠原洋上研修第一回集合研修（ソニックシティ）

## 全国ネットの人材情報で、 出向・移籍等の支援！

お気軽に  
ご相談ください

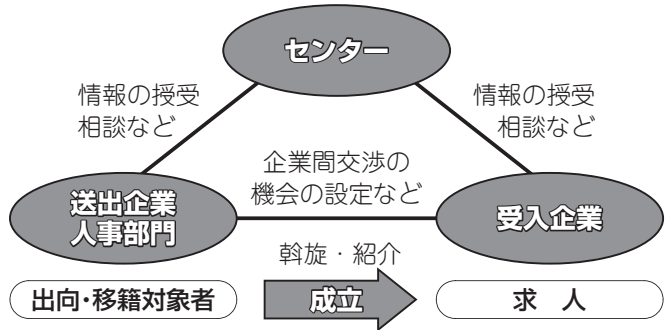
企業間の人材マッチングを  
サポートしています。

### 信頼と安心

経済・産業団体と厚生労働省の協力で設立された公益法人です。

### 無料

情報の提供、相談、あっせん費用はかかりません。



●お問い合わせ

埼玉 事務所 ☎048-642-1121 (土・日・祝日休)

<http://www.sangyokoyo.or.jp/>

出向・移籍の  
専門機関



公益財団法人  
産業雇用安定センター

埼玉  
事務所

## UR賃貸住宅

**コスト削減!**

礼金・仲介手数料・更新料不要なので、コスト削減をお手伝い。

**団地いろいろ!**

単身者用から、家族向けまで。首都圏で約700団地(埼玉県内約130団地)から選べます。

埼玉県内約130団地!!

# 社宅ならUR賃貸住宅

社有から借り上げへ。社宅の合理化は大きな流れ。でも、社宅の借り上げにも何かと不便や不安がつきものです。そこでご検討いただきたいのが「UR賃貸住宅」。社宅に関するさまざまな悩みをしっかりと解決します!!

社宅UR

HPからも予約できます

検索

**入居者募集中!**

まだまだありますUR賃貸住宅物件探しはこちらへ  
UR八重洲営業センター 法人専用窓口 TEL03-3271-0610  
UR新宿営業センター 法人専用窓口 TEL03-3347-4387



UR都市機構

埼玉地域支社 住宅経営部営業推進チーム  
〒336-0027 さいたま市南区沼影一丁目10番1号ラムザタワーA棟  
tel.048-844-2238

★平成25年度第2回企業戦略研究会  
日時 8月2日(金)13時30分～16時30分  
会場 ソニックシティ403・404  
内容 ニュー・ノーマル消費へ対応した市場戦略とは、大規模調査から日本の生活者市場を読み解く  
講師 (株)三菱総合研究所事業予測情報センター センター長 阿部淳一氏

★第1種・第2種衛生管理者受験のための対策講座(2回)  
日時 第1回8月6日(火)・7日(水)  
第2回9月4日(水)・5日(木)  
9時30分～16時30分  
会場 ソニックシティ603  
内容 出題傾向分析と合格学習法、関係法令、理解度テストと解説、労働衛生、労働生理、有害業務など  
講師 (株)ウエルネット 専任講師 臼井一博氏・中村文彦氏

★平成25年度第4回トップセミナー  
日時 8月21日(水)14時～16時  
会場 ソニックシティ403・404  
内容 しまむら、ヤオコー、サイボク

＜新入会の「案内」＞  
(株)オオツカハイテック  
代表取締役 大塚 則夫  
鴻巣市上会下六二六  
電話〇四八―五六九―二七一一  
(資) 一千万円  
(従) 九一名  
各種カムの設計・加工。切削部品の加工。インデックスユニット、ATユニット。

＜代表者変更＞  
(株)朝日ラバー  
代表取締役社長 伊藤 潤(旧 横山 林吉)

ハム、日高屋、なぜ、この会社の成長は止まらないのか―自己覚知の経営  
講師 (株)CWM総合経営研究所 代表取締役 杉田圭三氏

★第34次小笠原洋上研修第2回集合研修  
日時 8月22日(水)9時30分～17時  
会場 ソニックシティ906  
内容 チームづくり、マネジメント講義、ガイダンス  
講師 研修講師 井上達彦氏

★安全管理者選任時研修  
日時 8月26日(月)9時30分～20時  
会場 ソニックシティ602  
内容 安全管理、安全教育、危険性又は有害性等の調査及びその結果に基づき講ずる処置等、関係法令など  
講師 (株)ウエルネット専任講師 只野和好氏

★平成25年度第2回CSR委員会  
日時 8月27日(火)9時30分～16時30分  
会場 ソニックシティ403・404  
内容 第3回NPOと企業のマッチングフォーラム

イーグル工業(株)埼玉事業場  
埼玉事業場長 鶴田 英一(旧 下村 孝夫)  
(株)NTTフアシリティーズ  
埼玉支店長 近藤 栄治(旧 末永 裕章)  
川研フラインケミカル(株)埼玉工場  
代表取締役工場長 高梨 宏司(旧 佐藤 孝美)  
(株)関電工埼玉支店  
執行役員埼玉支店長 仲摩 俊男(旧 吉野 日出夫)  
協育歯車工業(株)春日部工場  
代表取締役社長 井田 齊昭(旧 永田 和久)  
(株)こもだ建総  
代表取締役社長

プレゼンテーター 企業の社会貢献活動に資する16のNPO団体  
★第5回トップセミナー  
日時 9月2日(月)14時～16時  
会場 ソニックシティ403・404  
内容 模倣の経営学、偉大な会社はマネから生まれるトヨタ、セブンイレブン、ドトール、スターバックスは、どのようにして他社の経営を学んだのか  
講師 早稲田大学商学大学院 教授 井上達彦氏

★平成25年度第5回特別セミナー  
日時 9月4日(水)14時～16時30分  
会場 ソニックシティ403・404  
内容 経営者のための税制セミナー【平成25年度税制改正、移転価格税制等海外進出に関わる税務上の留意点】  
講師 KPMG税理士法人 パートナー/税理士 遠藤達也氏

★平成25年度第3回クローバル委員会  
日時 9月5日(木)14時～16時40分  
会場 ソニックシティ403・404  
内容 講演・投資先として再評価されるフィリピンの魅力と経済情

荻田 誠(旧 荻田 勇司)  
(株)さいたまアリーナ  
代表取締役社長 中尾 豊治(旧 村本 邦夫)  
埼玉機器(株)  
代表取締役社長 西海 栄一(旧 日野 勝義)  
三輪精機(株)  
代表取締役社長 末永 昭(旧 田畑 清光)  
ジェコー(株)  
代表取締役 杉浦 さとし(旧 田淵 武重)  
新日本有限責任監査法人さいたま事務所  
シニアパートナー 公認会計士 飯塚 正貴(旧 中島 茂喜)

勢・投資環境を踏まえて説明・埼玉・セブものづくり人材育成事業・国際的な産学官連携事業を通じて地域活性化  
講師 ジェトロ海外調査部アジア大洋州課 倉沢麻紀氏  
埼玉県県民生活部国際課 副課長 増田文之氏

★第6回特別セミナー  
日時 9月9日(月)14時～16時  
会場 ソニックシティ403・404  
内容 経営者・管理者のための営業力強化講座  
講師 (株)タナベ経営東京本部 本部長 代理 岡田泰範氏

★埼玉大学特別公開講座第一講  
日時 9月18日(水)14時～16時  
会場 ソニックシティ404  
内容 企業の社会的責任を考える―東日本大震災への対応事例を踏まえて  
講師 埼玉大学経済学部 教授 安藤陽氏

★小笠原洋上研修第3回集合研修  
日時 9月19日(木)9時30分～16時45分  
会場 ソニックシティ906

東京海上日動火災保険(株)埼玉中央支店  
執行役員埼玉中央支店長 石川 正孝(旧 佐々木 健次)  
東京電力(株)埼玉支店  
埼玉支店長 塩川 和幸(旧 鷹尾 友行)  
日東商事(株)  
代表取締役社長 宮原 重行(旧 宿谷 直司)  
東日本電信電話(株)埼玉支店  
取締役埼玉支店長 笠井 澄人(旧 光山 由一)  
リコージャパン(株)関東営業本部埼玉支社  
埼玉支社長 関根 浩明(旧 木元 健治)

内容 グループワーク、目標の考え方、目標の設定、メンタルヘルスマネジメント、ウォークラリー解説、ガイダンス  
講師 研修講師

★第6回トップセミナー  
日時 9月24日(火)13時30分～16時  
会場 ソニックシティ401・402  
内容 日本のモノづくりの未来は明るく世界が絶賛する「メイド・バイ・ジャパン」  
講師 アーサー・D・リトル・ジャパソフシエート・ディレクター 川口盛之助氏

★第7回トップセミナー  
日時 10月1日(火)10時～16時10分  
会場 ソニックシティ403・404  
内容 ビジネスモデルワークショップ『戦略的思考を視覚化した画期的なフレームワーク』ビジネスモデル・キャンバスを学び、そしてビジネスモデルを描いてみる  
講師 (株)インサイトリンク 代表取締役社長 ビジネスコーチ(株)パートナー 河野龍太氏

リズム時計工業(株)  
代表取締役社長 笠間 達雄(旧 大川 康寛)

埼経協ニュース三七五号  
2013年7月26日発行  
さいたま市大宮区桜木町一七五八七  
ソニックシティビル九階  
発行所(一) 埼玉県経営者協会  
発行人 根岸茂文  
編集人 宮田信久  
電話(〇四八)六四七・四〇〇  
印刷所 望月印刷株式会社  
さいたま市中央区阿弥五八三六